

デジタルビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備

2 ページ～

撮る

13 ページ～

見る

18 ページ～

使いこなす

22 ページ～

ご注意など

73 ページ～

詳しい目次は7ページにあります。

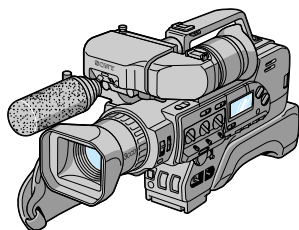


DCR-VX9000

とにかく撮って見る

必要なもの

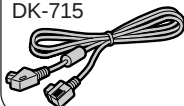
本体



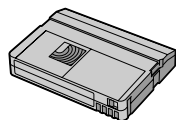
アクセサリキット(別売り)

AC/パワーアダプター
AC-V615

接続コード
DK-715



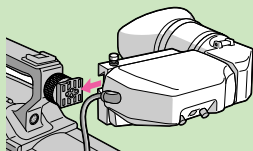
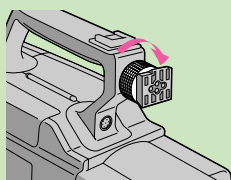
DVカセット **DV** (別売り)



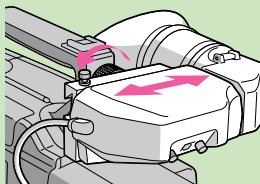
本機ではDVカセット **DV**のみ使えます。

1 ビューファインダーを取り付ける(8ページ)

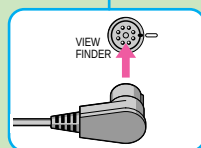
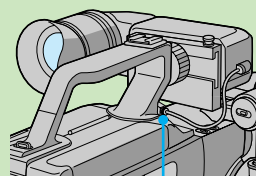
- ① 本体のリングをゆるめ、
取付部に差し込む。



- ② ビューファインダーの
左右の位置を調節し、
リングを締め付けて固
定する。



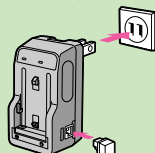
- ③ コネクターを本体へ差
し込む。



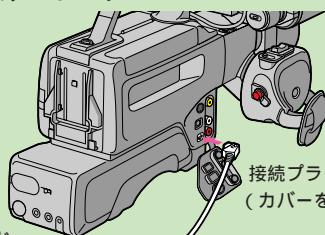
2 電源をつなぐ(65ページ)

屋外ではバッテリーを使います → 9ページ

コンセントへ



接続コード



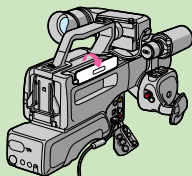
接続プラグ
(カバーを開けて差し込む)

接続プラグをはずすとき
プラグを持って引き抜く

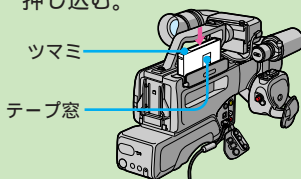
AC/パワーアダプターAC-V615
以外は使用しないでください。

3 カセットを入れる (11ページ)

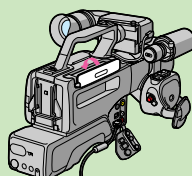
① カセットぶたを開ける。



② テープ窓を外側に、ツマミを上にしてカセットを押し込む。

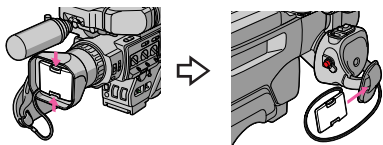


③ カセットぶたを閉める。



4 撮影する (13ページ)

① フードキャップをはずす。

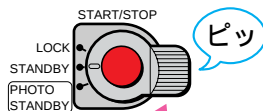


② POWERスイッチを「ON」にする。

③ CAMERA/VTRスイッチを「CAMERA」にする。

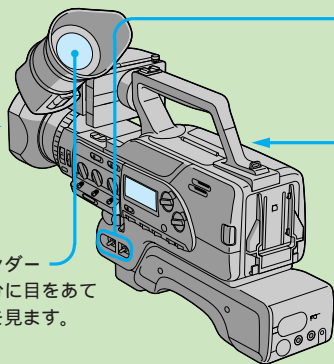
④ AUTO LOCKスイッチが「ON」になっていることを確認する。

⑤ スタンバイスイッチを「STANDBY」にする。

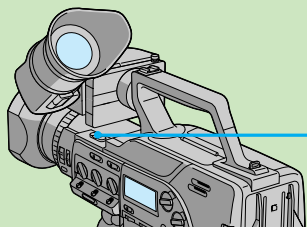


⑥ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

ファインダー
この部分に目をあてて
画像を見ます。

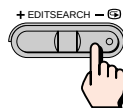


5 撮影できたか、ちょっと確認する (17ページ)



EDITSEARCH+ ㊄ボタンをポンと1回押す。

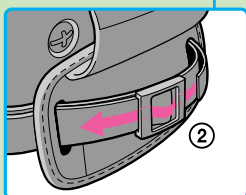
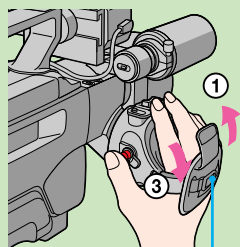
最後に撮影した場面が
数秒間ファインダーに
映り、もとの位置に戻
る。



うまく撮る姿勢

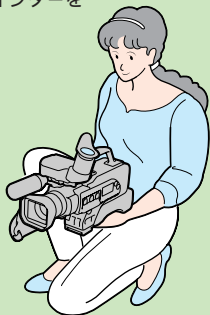
見やすい画像にするコツは、ビデオカメラを動かしすぎないことです。
ふらつかないように、安定した姿勢で撮影しましょう。

グリップベルトを
しっかりしめる。

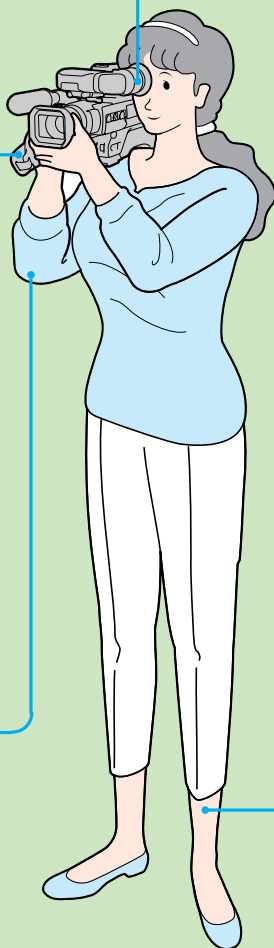


肩にのせて右わきををしめる。

低い位置で撮る姿勢
(ローアングル)
ビューファインダーを
上に向ける。



アイカップを目にしっかりあてる。

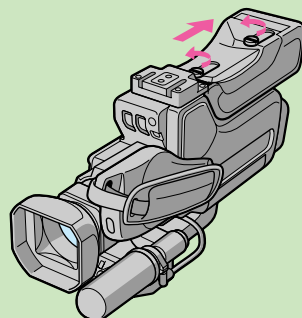


グリップの角度を調節する
には

ネジをコインなどでゆるめてから、
使いやすい角度に調節し、ネジをし
める。
グリップのマークに合わせて、3段
階の切り換えができます。

肩あての位置を調節するに
は

2本のネジをコインなどでゆるめて
から、ご自分に合う位置を決め、ネ
ジをしっかりしめる。

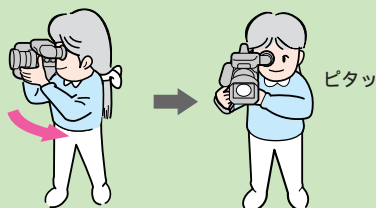


体がふらつかないように少し足を
開く。

撮影の基本

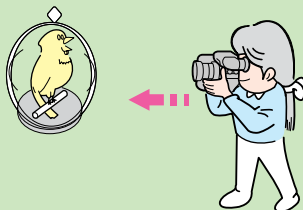
ビデオカメラをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



ズームは多用しない。

ズームボタンをW側（ワイドWide：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームボタンをT側（テレフォトTelephoto：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。



- 三脚を使う。

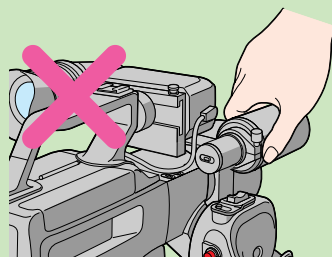
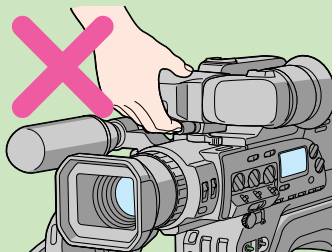
ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。また、取り付けるときはバランスに充分注意し、ネジをしっかりと締め落下や転倒しないようご注意ください。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

ご注意

ハンドルとグリップ以外をつかんで本機を持ち上げないでください。



必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、デジタルビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ビューファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

準備

とにかく撮って見る	2
うまく撮る姿勢	4
準備1 ビューファインダーを取り付ける ...	8
準備2 バッテリーを充電する	9
準備3 バッテリーを取り付ける	10
準備4 カセットを入れる	11
準備5 ファインダーを調節する	12

撮る

撮影する	13
撮影内容を確認する	17

見る

テレビにつなぐ	18
テレビで見る	19

使いこなす

撮影	
フェードイン・フェードアウトする	22
2つの画像をオーバーラップする	23
横長の画面で撮る - ワイドTVモード	24
静止画を撮る - フォトモード撮影	26
一定時間ごとに録画する	
- インターバル録画	28
1コマごとに撮影する - コマ撮り	30
ある部分だけ撮り直す	32
撮影時の調節	
自動調節と手動調節	34
手動でピントを合わせる	36
アイリスを調節する	38
シャッタースピードを調節する	39
ゲインを調節する	42
NDフィルターを使う	44

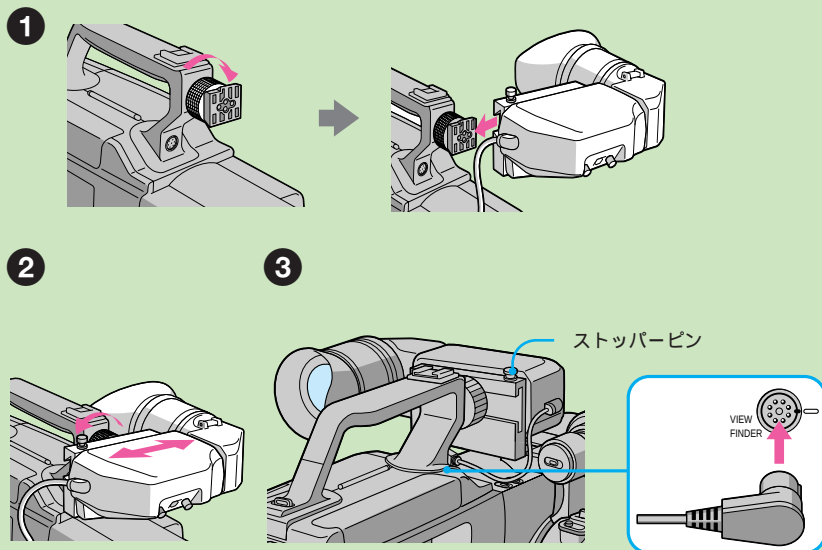
ゼブラパターンを使って調節する	45
手振れ補正を解除する	46
自然な色あいに調節する	
- ホワイトバランス	47
録音レベルを調節する	49
画質設定を記憶させる	
- カスタムプリセット	51
再生	
場面を頭出しする	54
撮影日時と撮影情報を画面に出す	
- データコード	57
編集	
ダビング編集する	59
記録済みテープに映像と音声を挿入する	61
ナレーションや音楽を追加する	
- アフレコ	63
その他	
バッテリー以外の電源で使う	65
メニューで設定を変える	66
日付・時刻を合わせ直す	71

ご注意など

ビデオカセットについて	73
お手入れについて	74
ボタン型リチウム電池を交換する	75
故障かな?と思ったら	76
保証書とアフターサービス	79
海外で使うとき	79
主な仕様	80
各部のなまえ	81
用語解説	88
警告表示とお知らせメッセージ	90
索引	91
こんなときはこの機能	裏表紙

準備1 ビューファインダーを取り付ける

本体にビューファインダーを取り付けます。



ご注意

本体のVIEW FINDER接続端子には、付属のビューファインダー以外は接続しないでください。

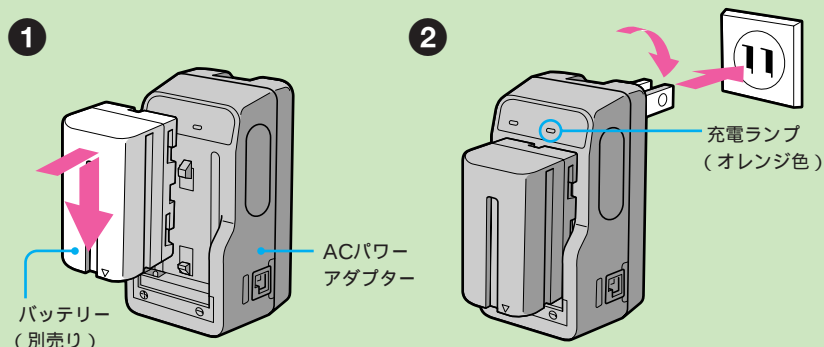
- 1 本体のリングをゆるめ取付部に差し込む。
- 2 見やすい位置にファインダーの左右の位置を調節し、リングを締め付けて固定する。
- 3 コネクターを本体のVIEW FINDER接続端子へ差し込む。
端子の溝とコネクターの突起を合わせる。

ビューファインダーを取りはずす

リングをゆるめ、ストッパーピンを上げながらはずす。

準備2 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りのACパワーアダプターAC-V615が必要です。
別売りのACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



バッテリーについて

- バッテリーには充電確認マークがついています。充電後に「■」側にする習慣にしておくと、ひと目で充電済みかどうかわかり便利です。



- ACパワーアダプターにつけて充電したときは自動的に「■」側になります。
- 本体にバッテリーを取り付けたまま充電する→65ページ

1 バッテリーを押しながら下にずらしてつける。

2 コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。

充電が終わると消える(実用充電)。さらに約1時間充電すると若干長く使えます(満充電)。

充電器から取りはずす

バッテリーを上にはずす。

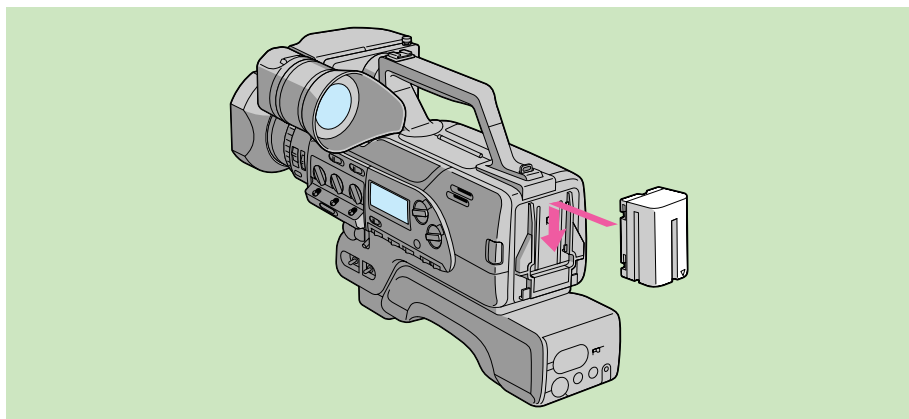


充電時間

バッテリー	満充電時間	(実用充電時間)
NP-F730	約250分	(約190分)
NP-F750	約270分	(約210分)
NP-F930	約330分	(約270分)
NP-F950	約360分	(約300分)

使い切ったバッテリーをAC-V615で充電したときの時間です。

準備3 バッテリーを取り付ける



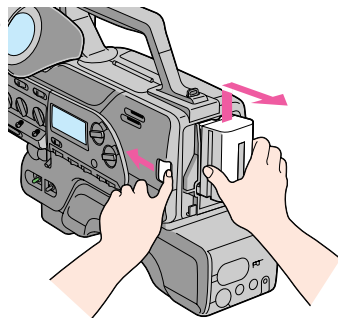
誤動作を防ぐために
バッテリーを取り付け、取り
はずしするときは必ず
POWERスイッチを「OFF」
にしましょう。

本機はInfoLITHIUM(イン
フォリチウム)バッテリー対
応機器ではありません。
インフォリチウムバッテリー
を使用しても、分表示は出ま
せん。

バッテリーを押しながら下へずらす。

本体から取りはずす

BATTボタンを押しながら
バッテリーを上へずらす。



使用時間

バッテリー	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F730	約 80(75)分	約 50(45)分
NP-F750	約 95(85)分	約 60(55)分
NP-F930	約 120(110)分	約 75(70)分
NP-F950	約 145(130)分	約 90(80)分

満充電してから使用したときの時間、()内は実用充電してから時間。

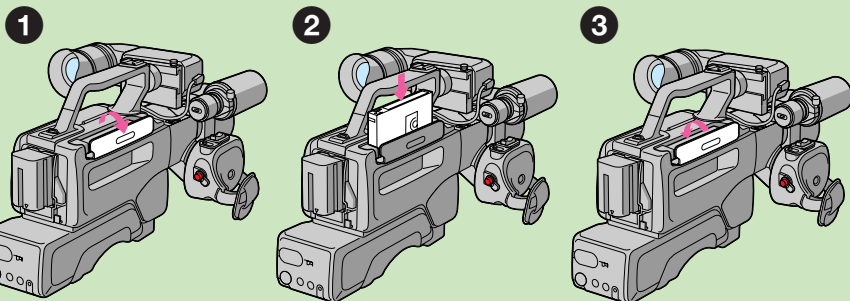
* 25 °Cで連続撮影したときの時間の目安。

**録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影
時間の目安。

低温では使用時間が短くなります。

準備4 カセットを入れる

DVカセット **DX** のみ使えます。ミニDVカセット **Mini DX** は使えません。



ご注意

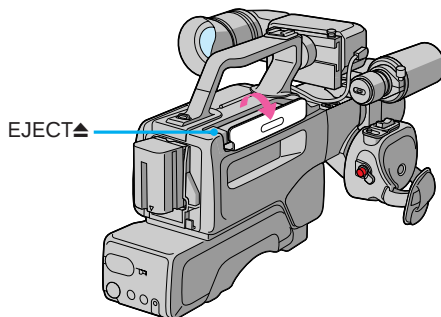
- カセットを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。
- カセットを取り出すときはカセットぶたを閉めないでください。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
- カセット入れにDVカセット以外のものを入れないでください。
- カセットを入れるときはPOWERスイッチを「ON」にすることをおすすめします。

カセットを取り出すときに「C MEMORY」の表示が出たらカセットメモリー書き込み中のため取り出せません(90ページ)。表示が消えると自動的にカセットが出てきます。

- 1 カセットぶたを開ける。
- 2 テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを押し込む。
- 3 カセットぶたを閉める。

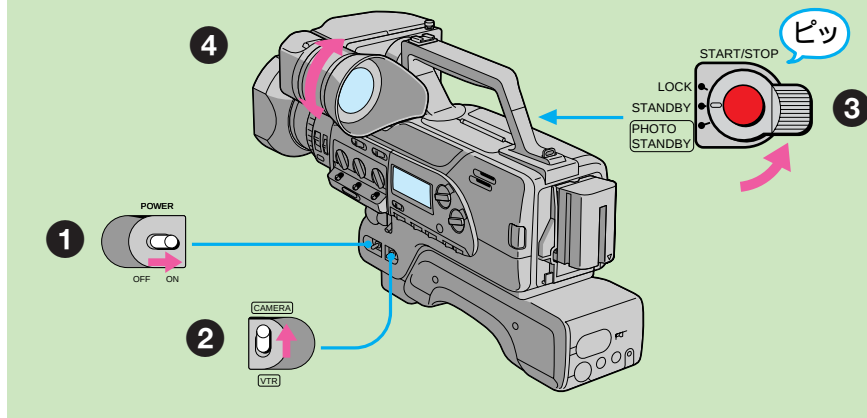
カセットを取り出す

カセットぶたを開け、EJECT▲ボタンを押す。



準備5 ファインダーを調節する

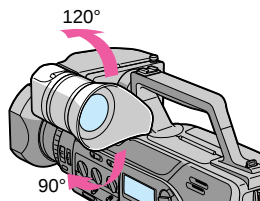
ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。



ご注意

電源が入っているときに、ファインダーの接続コードを抜かないでください。

ファインダーの角度を調節するときは
上に120度、下に90度まで
調節することができます。

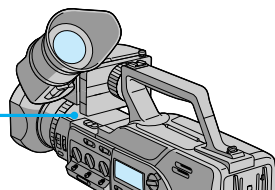
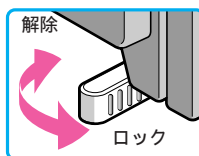


ファインダーの明るさを調節するときは
BRIGHTつまみで調節します。

ファインダーのコントラストを調節するときは
CONTRつまみで調節します。

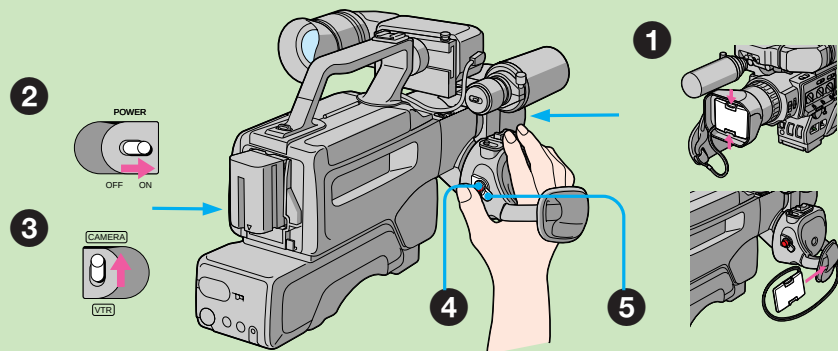
- 1 POWERスイッチを「ON」にする。
- 2 CAMERA/VTRスイッチを「CAMERA」にする。
- 3 スタンバイスイッチを「STANDBY」にする。
- 4 視度調節リングを回す。
ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

ファインダーの前後位置を調節するときは
ロックレバーを前側に押してロックを解除します。
前後位置を調節し、ロックレバーをもとの位置に戻します。



撮影する

AUTO LOCKスイッチを「ON」に、FOCUSスイッチを「AUTO」にしておけばピント合わせも自動で、簡単に撮影ができます。



ご注意

ビューファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

テープの最初から撮影するときは15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

ファインダー内に「ND ON」が点滅したときはND FILTERスイッチを「ON」にします。(44ページ)

きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換はスタンバイスイッチを「LOCK」にしてから行えば、きれいなつなぎ取りができます。

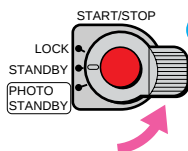
- 1 フードキャップをはずし、グリップベルトに止める。

バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。
「準備1~5」(8~12ページ)をご覧ください。

- 2 POWERスイッチを「ON」にする。

- 3 CAMERA/VTRスイッチを「CAMERA」にする。

- 4 スタンバイスイッチを「STANDBY」にする。



撮影スタンバイ



撮影する(つづき)

近くのものにピントがうまく合わないときはズームボタンのW側を押して広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

撮影スタンバイ状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを1度「LOCK」にしてから、「STANDBY」に戻します。

タイムコードについて
撮影中はファインダー内にテープ走行時間が「0:00:00」(時:分:秒)と出ます。再生中は「0:00:00:00」(時:分:秒:フレーム)と出ます。テープの途中に無記録部分があると、タイムコードは0から始まります。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。なお、本機のタイムコードはドロップフレーム方式です。(88ページ)

テープ残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。また、表示が出ない場合は、再生または録画が始まると数秒で表示が出ます。

5 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まる。

もう1度押すと止まります。

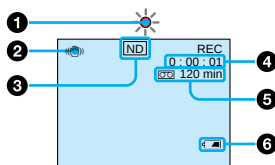
撮影中は前部と後部の録画/バッテリーランプが点灯します。



撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

- ① 録画/バッテリーランプ
- ② 手振れ補正「ON」のときに出る。(46ページ)
- ③ NDフィルター「ON」のときに出る。(44ページ)
- ④ タイムコード表示
- ⑤ テープ残量表示(87ページ)
- ⑥ バッテリー残量表示



MIC (PLUG IN POWER) (外部マイク入力端子) について
外部マイクをつないで音声を録音できます。
外部マイクをつないでいるときには、本体のマイクの音は録音できません。

前部録画/バッテリーランプを消すには
TALLYスイッチを「OFF」にします。
後部録画/バッテリーランプは消えません。

デジタルズームを使うと

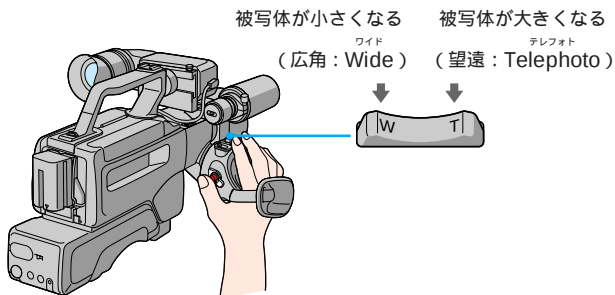
- ズーム倍率は20倍までに なります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「D ZOOM」を「OFF」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます。(66ページ)

初期設定は「OFF」になっています。

ズームする

ズームボタンを押す。

軽く押すとゆっくりズームし、さらに強く押すと速くズームする。



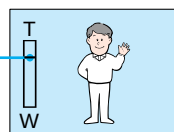
使いすぎると見づらい作品になります。

デジタルズームを使用する

DIGITAL MODEスイッチを「ZOOM/16:9WIDE」に合わせ、メニューで「D ZOOM」を「ON」にします。(66ページ)
「ON」にすると10倍を超えるズームはデジタルズームになります。

初期設定は「OFF」になっています。

このラインよりT側がデジタルズームになります。



撮影が終わったら

- 1 スタンバイスイッチを「LOCK」にする。
- 2 カセットを取り出す。
- 3 POWERスイッチを「OFF」にする。
- 4 バッテリーを取りはずす。

撮影する(つづき)

ご注意

- 撮影中に音声モードを切り換えると、数秒間の無音部分ができます。
- 16ビットモードで記録したテープには、アフレコはできません。

マイクの指向性を切り換えるとき
DIRECTION SELECTスイッチで、マイクの指向角(ステレオ拡がり角)を切り換えることができます。
0°を選ぶとモノラルになります。

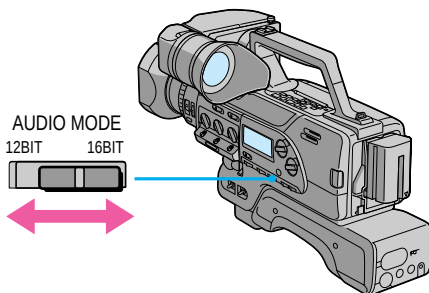
録画中内蔵スピーカーの音がハウリングするとき
MONITOR LEVELつまみで音量を下げるか、SPEAKERスイッチを「OFF」にしてください。

音声モードを切り換える

音声の記録モードは、16ビットモードまたは後から音声を追加できる12ビットモードのどちらかを選ぶことができます。

AUDIO MODEスイッチを切り換える。

「16BIT」に合わせるとファインダー内に「16BIT」表示が出ます。

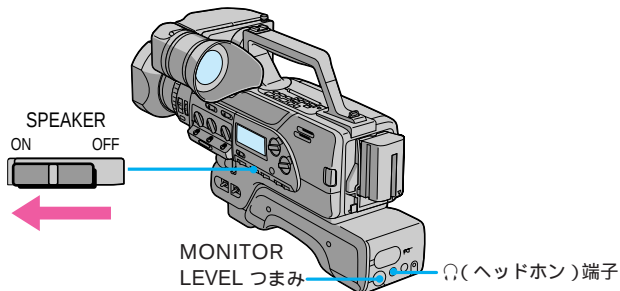


撮影中の音をモニターする

内蔵スピーカーまたはヘッドホンで撮影中の音をモニターできます。

スピーカーでモニターする

SPEAKERスイッチを「ON」にし、MONITOR LEVELつまみで音量を調節する。



ヘッドホンでモニターする

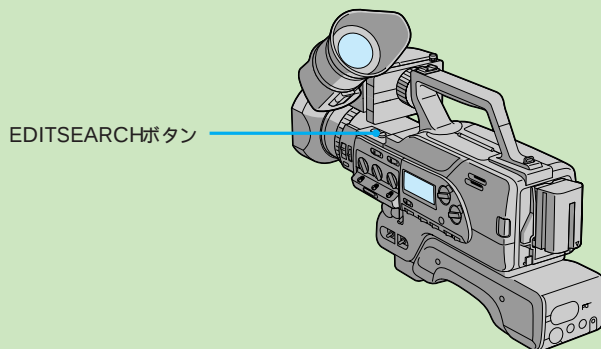
⌚(ヘッドホン)端子にヘッドホン(別売り)をつなぎ、MONITOR LEVELつまみで音量を調節する。

ヘッドホンをつなぐとスピーカーから音は出ません。

撮影内容を確認する

撮影した内容をファインダーで確認できます。撮り直しの開始点を決めることもできます。

撮った画面が気になるときに使います。



長い内容を確認したいとき
CAMERA/VTRスイッチを
「VTR」にすると、ファイン
ダーで再生画像が見られま
す。操作は19ページ「テレ
ビで見る」の手順と同じで
す。

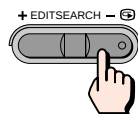
エディットサーチについて
CAMERA/VTRスイッチが
「VTR」のときも、再生一時
停止からエディットサーチが
できます。

最後の場面を確認する - レックレビュー

[撮影スタンバイ中]に
EDITSEARCHボタンの - ⑤側をボ
ンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、再
び撮影スタンバイに戻る。

スピーカーまたはヘッドホンで音も確
認できます。

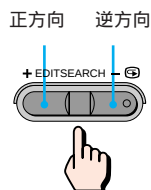


正方向または逆方向に再生する - エディットサーチ

[撮影スタンバイ中]に
EDITSEARCHボタンの再生したい
側を押し続ける。

強く押すと2倍速になる。

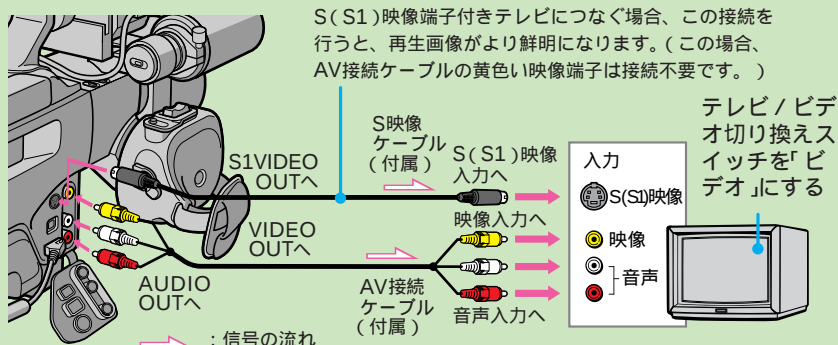
指を離れたところが、次の撮影開始点になる。
音は出ません。



テレビにつなぐ

撮影したテープをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。

電源は別売りのACパワーアダプターAC-V615を使って、コンセントからとることをおすすめします(65ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



お持ちのテレビにS1端子がついていて、本機のS1端子とつないでいるとき
本機で撮影したワイド画像を映そうとすると、自動的にワイド画像に切り換わります。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にしてください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(赤いプラグは接続不要です。)

音声はモノラルです。このとき、本機につないだヘッドホンの音声もモノラルです。

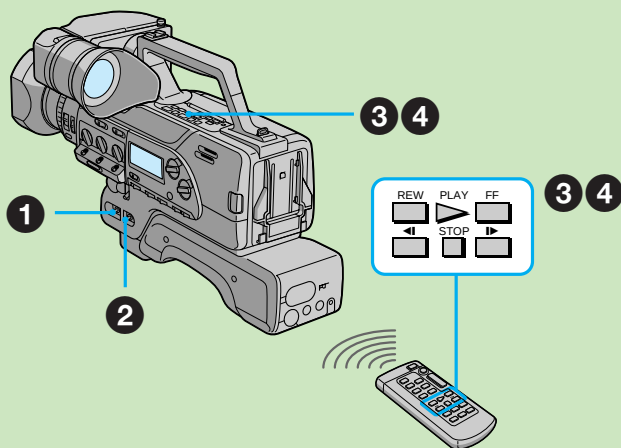
映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターをお使いください。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声はモノラルです。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見ます。ファインダーでも見られます。
本機をテレビにつなぎ、本機からの映像がテレビに映るようにしておきます。



ご注意

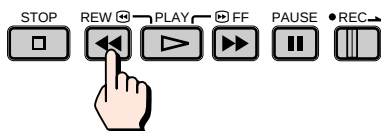
外国製のビデオソフトの中には、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

本機のスピーカーまたはヘッドホンで再生中の音声を聞くときは
MONITOR LEVELつまみで音量を調節します。

見たい場面に戻るには
再生中に後でもう一度見たいところでZERO SET
MEMORYボタンを押します。
再生後◀◀REWボタンを押すと、0:00:00付近で止まります。

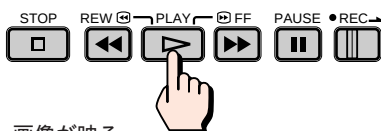
- 1 POWERスイッチを「ON」にする。
- 2 CAMERA/VTRスイッチを「VTR」にする。

- 3 操作ボタンカバーを開け、◀◀REW(巻戻し)ボタンを押す。



巻き戻しが始まる。

- 4 ▷PLAY(再生)ボタンを押す。



画像が映る。

見る

テレビで見る(つづき)

一時停止(静止画)について
5分以上続けると自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▷PLAYボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続けると自動的にふつうの再生に戻ります。

変速再生について

- 変速再生中は音声は出ません。
- 前の画像がモザイク状に残って再生されることがあります。故障ではありません。

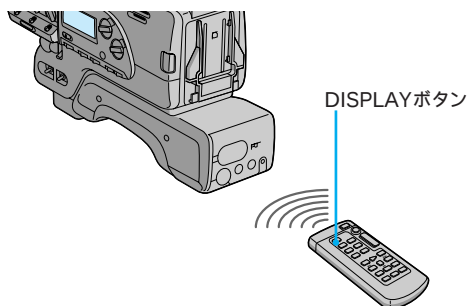
スロー再生または静止画のときは
前の画像が残ることがあります。

タイムコードなどの表示を出す - 画面表示機能

リモコンのDISPLAYボタンを押す。

ファインダー内に出る文字がテレビ画面に出ます。もう1度押すと消えます。

CAMERA/VTRスイッチを「CAMERA」にしたときも同じように出ます。



いろいろな再生

止める

[再生中]に□STOP(停止)ボタンを押す。

静止画を見る

[再生中]に■PAUSE(一時停止)ボタンを押す。

もう1度押すか、▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[再生中]に□STOP(停止)ボタンを押し、▶▶FF(早送り)ボタンを押す。

▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[再生中]に□STOP(停止)ボタンを押し、◀◀REW(巻き戻し)ボタンを押す。

▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中]に<ボタンを押す。

▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする (ピクチャーサーチ)

[再生中]に▶▶FF(早送り)/◀◀REW(巻き戻し)ボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]または[巻き戻し中]に▶▶FF(早送り)/◀◀REW(巻き戻し)ボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る(スロー)

[再生中]にII▶SLOW(スロー)ボタンを押す。

逆方向にスロー再生するときは、<ボタンを押してからII▶SLOW(スロー)ボタンを押す。

▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]にリモコンのX2ボタンを押す。

逆方向に倍速再生するときは、<ボタンを押してからリモコンのX2ボタンを押す。

▷PLAY(再生)ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見える

[再生一時停止中]に>ボタンを押す。

逆方向にコマ送りするときは、<ボタンを押す。

フェードイン・フェードアウトする

白画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

例：白画面からのフェードイン



ご注意

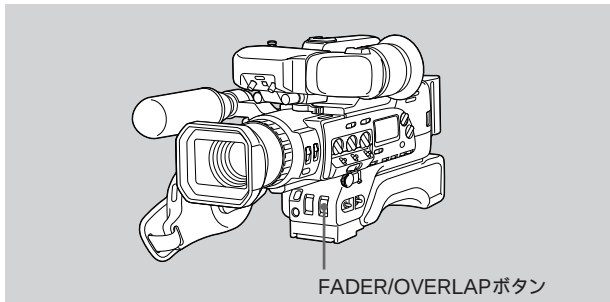
次のようなときはフェードイン・フェードアウトはできません。

- ・インターバル録画中
- ・コマ撮り中
- ・フォトモード中

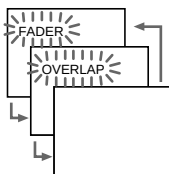
こんなときに使うと効果的です

- ・大きな場面転換（フェードイン・フェードアウト）
- ・物語の始めなど（フェードイン）
- ・一日の終わりなど（フェードアウト）
- ・余韻を残して終わる（フェードアウト）

フェードを多用すると被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。



- 1 • フェードインは [撮影スタンバイ中] に
• フェードアウトは [撮影中] に
FADER/OVERLAPボタンを押して
「FADER」表示を出す。



押すたびに変わります。
FADER→OVERLAP→（表示無し）

- 2 START/STOPボタンを押す。

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除されます。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：START/STOP ボタンを押す前に再度FADER/OVERLAPボタンを押し、ファインダーの表示を消す。

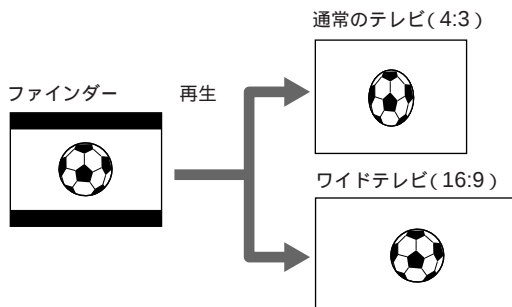
23

横長の画面で撮るーワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。

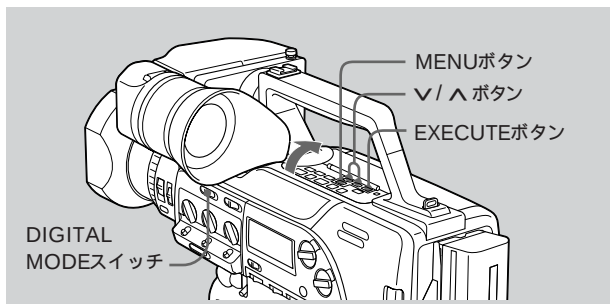


ワイドTVモードで撮影したテープを見ると

- ワイドテレビで見るテレビを「フルモード」にします。メニューの「WIDE PB」を「OFF」にします。
- 通常のテレビで見るメニューの「WIDE PB」を「ON」にします。上下に黒い帯が出るシネマモードで見られます。「OFF」にすると縦長に圧縮された画面になります。

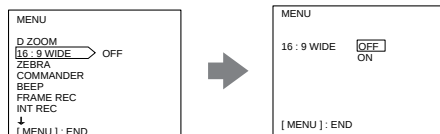
画面表示はワイドテレビで見ると、横長の文字になります。

ビデオIDシステム(ID-1)方式対応テレビにつなぐと「16:9WIDE」を「ON」にして記録されたテープを再生すると、自動的にフルモード(16:9)に切り換わります。テレビのS1映像入力端子に接続したときも自動的に切り換わります。



- 1 [撮影スタンバイ中]にDIGITAL MODEスイッチを「ZOOM/16:9WIDE」にする。
- 2 操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

- ③ **▽** または **△** ボタンを押して「16:9WIDE」を選び、EXECUTEボタンを押す。



- ④ **▽** または **△** ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。

- ⑤ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

16:9WIDE 表示が出る。

ワイド画面で撮影できます。

ワイドTVモードを解除する

メニューで16:9WIDEを「OFF」にするか、DIGITAL MODE スイッチを「OVERLAP」にする。

静止画を撮る—フォトモード撮影

通常のスチルカメラで撮影するように、静止画を録画できます。

シャッタースピード、アイリス、ゲインなど手動調節でも撮影できます。

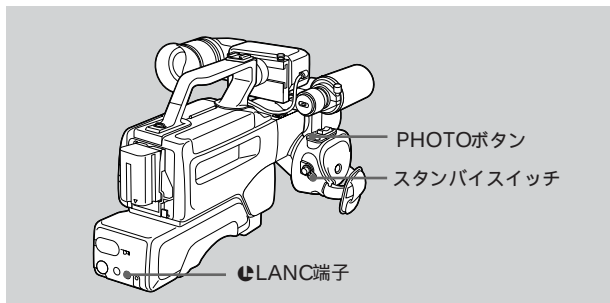
いつ使う?

- 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいとき
- パソコンに静止画を取り込みたいとき
- ビデオプリンターでプリントしたいとき、など。

ご注意

リモコンのPHOTOボタンを押すと、押したとき映っている画像が記録されます。軽く押して画像を選ぶことはできません。

自動調節でのシャッタースピードは明るさに応じて最大1/1000秒まで調節されます。

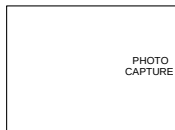


1 スタンバイスイッチを「PHOTO STANDBY」にする。

PHOTO表示が出る。

2 PHOTOボタンを軽く押して画像を確認する。

画像が静止状態になり、PHOTO CAPTURE表示が出る。



PHOTOボタンは軽く押したままにしておきます。

画像を選びなおすときは、PHOTOボタンを離してから選び、もう一度軽く押します。

ビデオフラッシュHVL-F7

(別売り)を使うときは
アクセサリシューに取り付
けビデオフラッシュのLANC
ケーブルを本機のLANC端
子につなぎます。

自動調節でのシャッタスピー
ドは1/60秒になります。手
動調節でも1/60秒に設定す
ることをおすすめします。

記録中にPOWERスイッチ
やスタンバイスイッチを切り
換えると
記録が終わったあとに切り換
わります。

3 PHOTOボタンを押し込む。

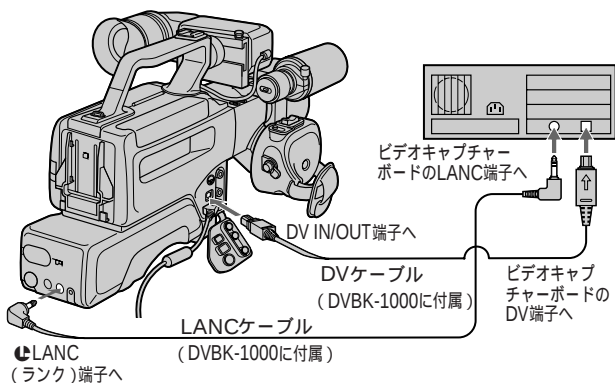
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録さ
れる。音声も同時に録音される。

フォトモードを解除する

スタンバイスイッチを「STANDBY」にする。

静止画をパソコンに取り込む

本機と別売りのDV静止画キャプチャーボードキットDVBK-
1000 (PC/AT互換機用)を使うと、パソコンに静止画を取り込
めます。



詳しくはDV静止画キャプチャーボードキットDVBK-1000の
取扱説明書をご覧ください。

一定時間ごとに録画する—インターバル録画

被写体を一定時間ごとに録画できます。あらかじめ設定した時間ごとに、録画と録画停止を交互に行います。

いつも使う?

花の開花や、昆虫の羽化など場面の時間をおいて撮影するとき。

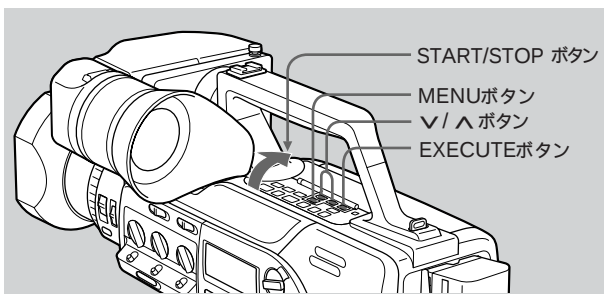
ご注意

フォトモードにするとインターバル録画はできません。

以下の操作を行なうとインターバル録画が解除されます。

- スタンスイッチを「LOCK」にしたとき。
- POWERスイッチを「OFF」にしたとき。
- CAMERA/VTRスイッチを「VTR」にしたとき。

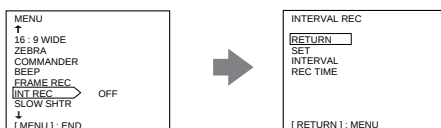
他のメニューを続けて設定するには
手順の7で△ボタンを押して「RETURN」を選びます。



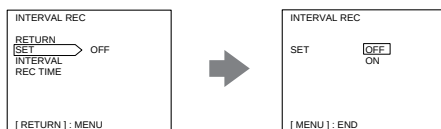
1 [撮影スタンバイ中]に

操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

2 ▽または△ボタンを押して「INT REC」を選び、EXECUTEボタンを押す。



3 ▽または△ボタンを押して「SET」を選び、EXECUTEボタンを押す。

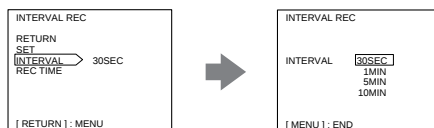


- 4 ▼または▲ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。

- 5 待機時間を設定する。

▼または▲ボタンを押して「INTERVAL」を選び、EXECUTEボタンを押す。

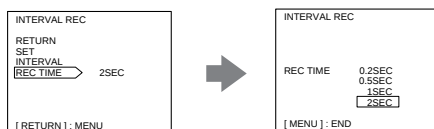
▼または▲ボタンを押して待機時間を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 6 録画時間を設定する。

▼または▲ボタンを押して「REC TIME」を選び、EXECUTEボタンを押す。

▼または▲ボタンを押して録画時間を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 7 MENUボタンを押し、メニュー画面を消す。

- 8 START/STOPボタンを押す。

インターバル録画が始まる。

途中で止める

START/STOP ボタンを2回押す。

インターバル録画の撮影スタンバイになる。

1回だけ押すと通常の録画になる。

インターバル録画を解除する

メニュー画面で「INT REC」を「OFF」にする。

1 コマごとに撮影する—コマ撮り

人形やおもちゃなど少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果が出せます。

コマ撮りするときは、ビデオカメラを固定してリモコンで操作することをおすすめします。

ご注意

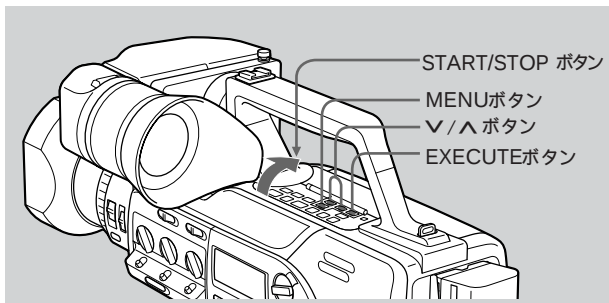
フォトモードではコマ撮り録画はできません。

以下の操作を行なうとコマ撮りが解除されます。

- スタンバイスイッチを「LOCK」にしたとき。
- POWERスイッチを「OFF」にしたとき。
- CAMERA/VTRスイッチを「VTR」にしたとき。

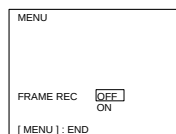
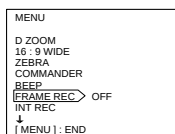
コマ撮りを連続で行うとテープ残量は正しく表示されません。

コマ撮りをするとコマ撮りの最終カットは、通常より1コマ長くなります。



- 1 [撮影スタンバイ中]に操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

- 2 ∨または∧ボタンを押して「FRAME REC」を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 3 ∨または∧ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。

- 4 MENUボタンを押し、メニュー画面を消す。

⑤ 本体またはリモコンのSTART/STOPボタンを押す

コマ撮り録画が始まる。

1コマ(約6フレーム)の撮影が行われ撮影スタンバイになる。

⑥ 被写体を動かして、手順の5の操作を繰り返す。

コマ撮りを解除する

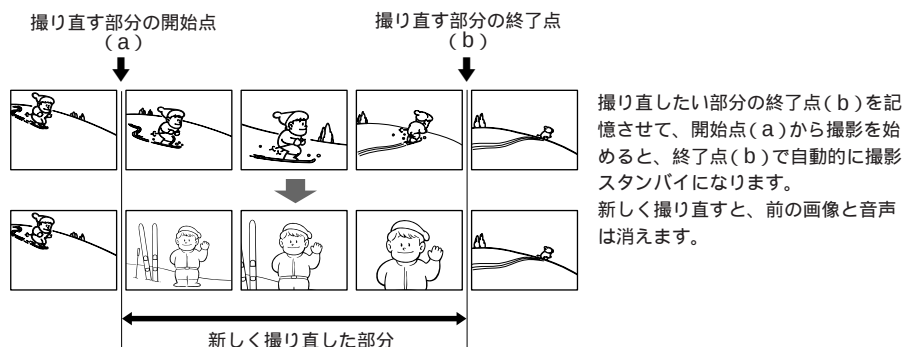
メニュー画面で「FRAME REC」を「OFF」にする。

ある部分だけ撮り直す

撮影スタンバイ中に、撮り直したい部分の始めと終わりを決めて、その部分だけ新しく撮り直すことができます。

いつ使う?

撮影した画像の中に不要な部分があるときなど。

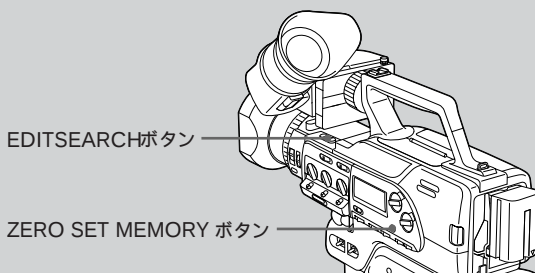


一度記憶させた終了点を変えるとき

ZERO SET MEMORYボタンを押し、「ZERO SET MEMORY」表示を消してから、手順1～3を繰り返します。

撮り直した部分の終了点で画像や音声が乱れることがあります。

テープの途中に記録されてない部分があると
ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。



1 [撮影スタンバイ中]に
EDITSEARCHボタンを押し続け、撮り直したい部分の終了点(b)で離す。

2 ZERO SET MEMORYボタンを押し、タイムコードを「0:00:00」にする。(ゼロセットメモリー)

ファインダー内のタイムコードが「0:00:00」表示になり「ZERO SET MEMORY」が点滅します。

表示窓に「MEMORY」表示が点滅します。

-
- ③ EDITSEARCH  ボタンを押したままにし、撮り直したい部分の開始点 (a) で離す。
撮影スタンバイになる。

-
- ④ START/STOP ボタンを押して撮影を始める。
タイムコードが「0:00:00」付近で、撮影スタンバイになる。
ゼロセットメモリーは自動的に解除されます。
-

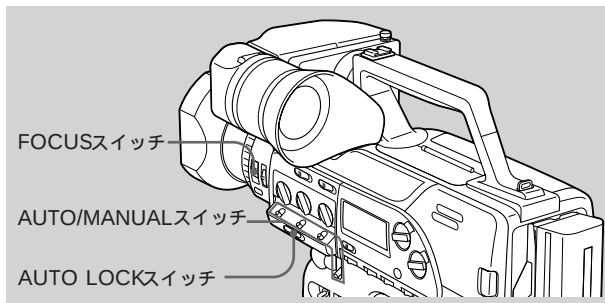
自動調節と手動調節

フォーカス(ピント)、アイリス(レンズ絞り)、シャッタースピード、ゲイン(明るさ)、ホワイトバランス(色あい)を自動ま

たは手動で調節できます。
詳しくは各項目のページをご覧ください。

アイリスやワンプッシュホワイトバランスを手動調節すると、以下のようなときも保持されています。

- AUTO LOCKスイッチを「ON」にして自動調節に戻したとき
- POWERスイッチを「OFF」にしたとき



自動調節

- FOCUSスイッチを「AUTO」にする。
- AUTO LOCKスイッチを「ON」にする。

手動調節

フォーカスの手動調節

FOCUSスイッチを「MANU」にする。

自動調節に戻す

FOCUSスイッチを「AUTO」にする。

アイリス、シャッタースピード、ゲイン、ホワイトバランスの手動調節

AUTO LOCKスイッチを「OFF」にして、各項目のAUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

自動調節に戻す

AUTO LOCKスイッチを「ON」にする。

ゲインはスチルカメラのフィルム感度に相当します。ただし、ゲイン値を上げすぎると画面が多少ザラつくことがあります。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影するとシャッタースピードによっては、画面が明るくなったり、暗くなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化したりすることがあります。このような場合には、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100に、関西地方など60Hzの地域では1/60に固定してください。

アイリス、シャッタースピード、ゲインの手動調節と自動調節について

アイリス、シャッタースピード、ゲインはどれか1つを手動調節にして他の項目を自動調節にすると、手動調節された値に対し画像が最適になるように自動調節されます。

次のような場合には、各項目を手動調節することをおすすめします。



[a]：ポートレート撮影—アイリスを手動調節にする
被写界深度を変化させ、背景をぼかして人物を引き立てる画像が得られます。

[b]：スポーツシーン撮影—シャッタースピードを手動調節にする
・被写体の動きが速く画像がブレるのを防ぎます。
・暗い場所で撮影しても、被写体を明るく撮ることができます。
・晴天下など、明るい場所でアイリスが自動で絞られることによる小絞りを防ぎます。

[c]：夜景撮影—ゲインを手動調節にする
・暗い場所で明るい被写体を撮るときの色とびをおさえます。
・画面を明るくしようとして画像がザラついたり、実際よりも明るく映ったりするのを防ぎます。

各項目の設定

項目	可変段階 (ステップ数)	明るさの変化	明るくなる↔ 暗くなる
アイリス	13 ステップ	0.5EV / ステップ	F1.6↔F11、 CLOSE
シャッタースピード	12 ステップ	1 ~ 2EV / ステップ	1/4 ↔ 1/10000
ゲイン	8 ステップ	0.5EV / ステップ	+18dB ↔ -3dB

アイリス、シャッタースピード、ゲインの関係

撮影中の画面の明るさは、レンズに入ってくる露光量（露光量）によって変わります。撮影中に画像の明るさを一定にするには、この露光量を一定にする必要があります。

$$\begin{aligned} \text{露光量 (EV)} = & \text{アイリスによる露光量} \\ & + \text{シャッタースピードによる露光量} \\ & + \text{ゲインによる露光量} \end{aligned}$$

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。



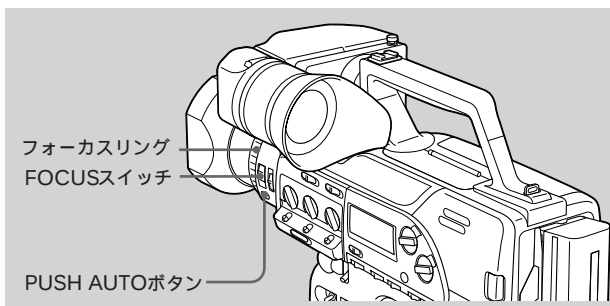
いつ使う？

- 自動ではピントが合いにくいとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき

暗い室内で撮るときや明るい野外での動きの激しいものを撮るとき

手動ピント合わせをしたあと、なるべくズームをW側(広角)で撮ります。

近づいて大きく撮るときズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。



手動でピント合わせをするとき、次のようなマークが出ます。

- ▲ 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

① [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に FOCUSスイッチを「MANU」にする。
手動ピント合わせ表示 $\odot$ が出る。

② ズームをT側(望遠)いっぱいにする。

③ フォーカスリングを回し、ピントを合わせる。

④ ズームを動かし、撮りたい大きさにする。

自動ピント合わせに戻す

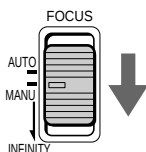
FOCUSスイッチを「AUTO」にする。

$\odot$ 表示が消える。

AUTO LOCKスイッチを
「ON」にしても
ピント合わせは手動調節で
きます。

ピントを無限遠にして撮る

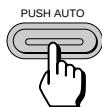
FOCUSスイッチを「INFINITY」に合わせる。
指を離すとピント合わせが手動に戻る。



遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合って
しまうときに使います。

一時的に自動ピント合わせで撮る

PUSH AUTOボタンを押す。
押している間、自動ピント合わせが働く。
指を離すと手動ピント合わせに戻る。



手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体へピントを移
すようなときに使うと、自然にピントが合うようなめらかな
画像になります。

アイリス(レンズ絞り)を調節する

被写界深度を自由に設定して撮影することができます。



いつ使う？

- 被写体と背景の明暗の差がありすぎるとき
- 暗い場所で明るい画像にしたいとき
- 背景をぼかして人物を引き立てたいとき
- 人物と背景のどちらもはっきり撮りたいとき

アイリスは

F1.6、F2、F2.4、F2.8、
F3.4、F4、F4.8、F5.6、
F6.8、F8、F9.6、F11、
CLOSEの13種類が選べます。

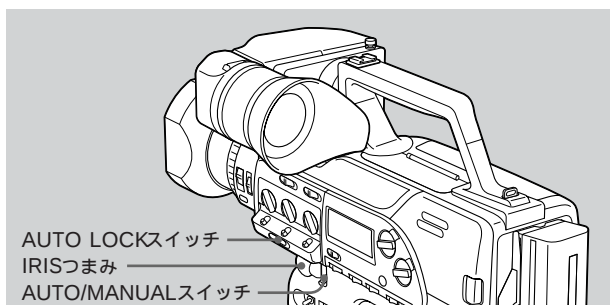
被写界深度はアイリスやズーム(焦点距離)によって下の表のように変化します。

アイリス	開放側	絞り側
(レンズ絞り)	(F値小)	(F値大)
被写界深度	浅い	深い

ズーム	望遠	広角
(焦点距離)	(T側)	(W側)
被写界深度	浅い	深い

ズームをT側(望遠)にしているとき
F1.6は選べません。

アイリスの設定値は
ボタン型リチウム電池が入っているときは、電源をはずしてから5分以内は保持されます。



① [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
AUTO LOCKスイッチを「OFF」にする。

② IRISつまみ右側のAUTO/MANUALスイッチ
を「MANUAL」にする。

現在設定されているアイリス値が表示される。

③ IRISつまみを回して調節する。

F1.6 ↔ F11、CLOSE
明るい 暗い 閉じる

アイリスを自動調節に戻す

アイリスのAUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にする。
ファインダーからアイリス値が消える。

シャッタースピードを調節する

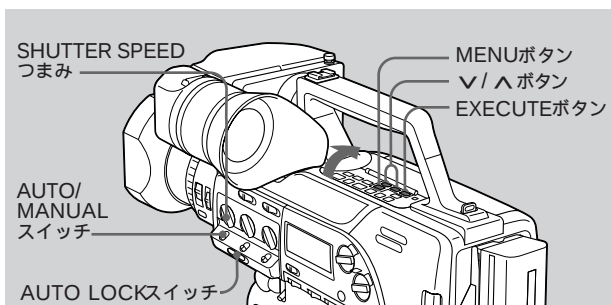
シャッタースピードは、撮影条件や明るさに応じて切り換えます。



いつ使う？

- 動きの速いものをブレなく撮影したいとき。
- 動きの速い場面をスロー再生や静止画像で見たいとき。
- スローシャッターは、暗い画像を明るく撮りたいときや、動いている被写体の動感を表現したいとき。

シャッタースピードは SHUTTER SPEED つまみで SLOW、60、100、250、1000、PRESET の6種が選べます。SLOWでスローシャッター、PRESETはメニューで値を設定します。シャッタースピード表示が100 のとき、シャッタースピードは1/100です。



- 1 [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に AUTO LOCKスイッチを「OFF」にする。
- 2 SHUTTER SPEED つまみ下側の AUTO/MANUAL スイッチを「MANUAL」にする。
現在設定されているシャッタースピードが表示される。
- 3 シャッタースピードつまみを回して調節する。

シャッタースピードを自動調節に戻す

シャッタースピードの AUTO/MANUAL スイッチを「AUTO」にする。

ファインダーからシャッタースピード値が消える。

シャッタースピードを調節する(つづき)

ご注意

スローシャッターはDIGITAL MODEスイッチが「OVERLAP」のときは使えません。

高輝度の被写体を撮影するとシャッタースピードが速い場合、縦に薄く尾を引いたような画像(スミア現象)になることがあります。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影するとシャッタースピードによっては、画面が明るくなったり、暗くなったりする現象(フリッカー)が起こったり、色が変化したりすることがあります。このような場合には、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100に、関西地方など60Hzの地域では1/60に固定してください。

スローシャッターでは、自動でピントが合いにくくなる場合があります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

適切なシャッタースピードの例

シャッタースピードは、撮影条件や明るさに応じて切り換えます。下の表示を参考にしてシャッタースピードを調節してください。シャッタースピードを速くすると画像が暗くなることがあります。ファインダーで明るさを確認してください。

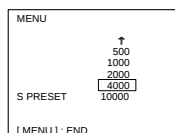
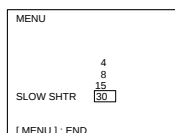
撮影条件	おすすめするシャッタースピード
・晴天下でテニスやゴルフをしている人を撮る	1/500 1/10000 (瞬間をはっきり撮るときは、1/1000 ~ 1/10000)
・自動車や電車から外の風景を撮る ・薄曇りにジェットコースターなど撮る ・運動会やマラソンなどを撮る	1/100 1/500
・屋内でスポーツをしている人を撮る ・雪山や真夏の晴れた海岸でNDフィルターの代わりにする(光量は半減します。) ・蛍光灯の下でのちらつきのない画像を撮る(関西地方など60Hzの地域では、1/60) ・晴天下で撮る(小絞りぼけ)	1/100

メニューで設定する

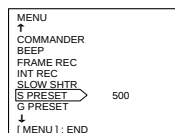
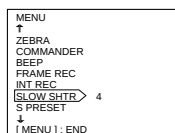
SHUTTER SPEED つまみの「SLOW」または「PRESET」の位置のシャッタースピードはメニューで値を設定します。メニューで設定した値は、再び「SLOW」や「PRESET」の位置にすると自動的にその値になります。

- 1 [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。

- ② **▽** または **△** ボタンを押して「SLOW SHTR」(スローシャッター)または「S PRESET」(シャッタースピードプリセット)を選び、EXECUTEボタンを押す。



- ③ **▽** または **△** ボタンを押して希望のシャッタースピードを選び、EXECUTEボタンを押す。



- ④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

ゲインを調節する

暗い場所の被写体の状態に合わせゲインを調節し雰囲気合わせた撮影ができます。



いつ使う?

- 暗いものを明るくして撮りたいとき
- 自動では実際より明るい画像になってしまうとき

ゲインは

GAINつまみで-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、PRESETの6種類が選べます。PRESETはメニューで値を設定します。

暗い場所で高輝度の被写体を撮影すると自動でピントが合いにくくなることがあります。手動でピントを合わせてください。

ゲイン値を上げすぎると画面が多少ざらつくことがあります。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
AUTO LOCKスイッチを「OFF」にする。
- 2 GAINつまみ下側のAUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
現在設定されているゲイン値が表示される。
- 3 GAINつまみを回して調節する。

ゲインを自動調節に戻す

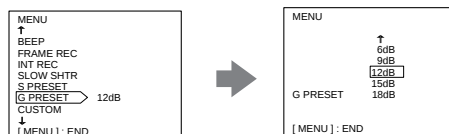
ゲインのAUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にする。
ファインダーからゲイン値が消える。

メニューで設定する

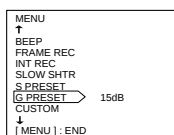
GAINつまみの「PRESET」の位置のゲイン値はメニューで設定します。メニューで設定した値は、再び「PRESET」の位置にすると自動的にその値になります。

- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

- 2 **▽**または**△**ボタンを押して「G PRESET」
(ゲインプリセット)を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 3 **▽**または**△**ボタンを押して希望のゲイン値
を選び、EXECUTEボタンを押す。



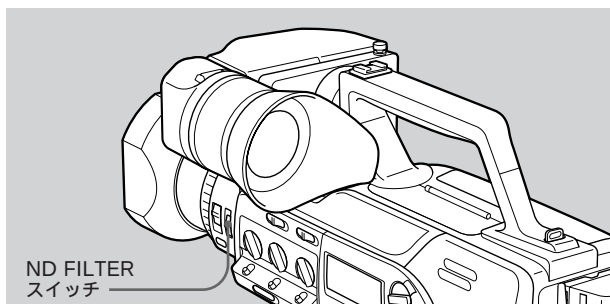
- 4 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

NDフィルターを使う

本機には、NDフィルター（光量1/10相当）が内蔵されています。NDフィルターを使うと、屋外などで明るすぎる場面を撮るときにぼけが生じるのを防ぎ、はっきりときれいに撮れます。

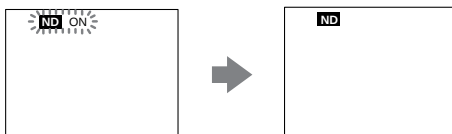
いつ使う？

明るすぎる場面を撮るとき



[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に「**ND** ON」が点滅したとき、ND FILTERスイッチを「ON」にする。

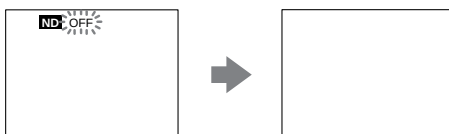
「ND」表示が点灯する。



[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に

ND 「OFF」が点滅したとき、ND FILTERスイッチを「OFF」にする。

「ND」表示が消灯する。



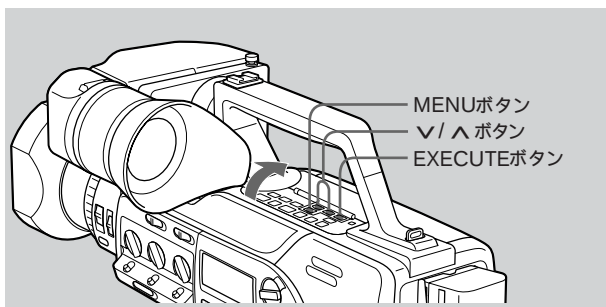
ゼブラパターンを使って調節する

撮影の前にパターンが出るように設定し、アイリス、シャッタースピード、ゲインを調節するときの目安にします。自分の撮りたい被写体にパターンが出ないように調節します。

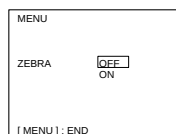
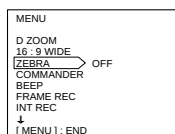
ゼブラパターン



ゼブラパターンはテープには録画されません。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。
- 2 ▼または▲ボタンを押して「ZEBRA」を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 3 ▼または▲ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。
- 4 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

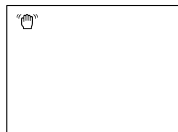
ゼブラパターンを消す

上の手順3で「OFF」を選ぶ。

手振れ補正を解除する

手振れ補正機能はビデオカメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。ビデオカメラを手を持ったり、肩にのせて撮るときに効果があります。

三脚に取り付けるなど手振れの心配がないときは、手振れ補正機能を「OFF」にしたほうが自然な画像になります。



手振れ補正「ON」

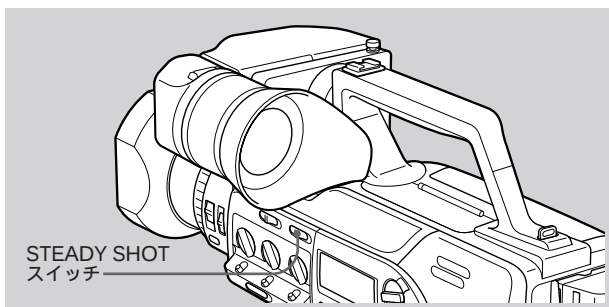


手振れ補正「OFF」

ご注意

手振れ補正が「ON」になっていても、手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。

テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると手振れ補正が効きにくくなります。



[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
STEADY SHOTスイッチを「OFF」にする。

☞表示が消える。

手振れ補正を働かせるとき

STEADY SHOTスイッチを「ON」にする。

☞表示が点灯する。

自然な色あいに調節する—ホワイトバランス

これから撮ろうとする光のもとで、白いものは白く、自然な色あいの画像になるようにホワイトバランスを調節します。

いつ使う？

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき、など。

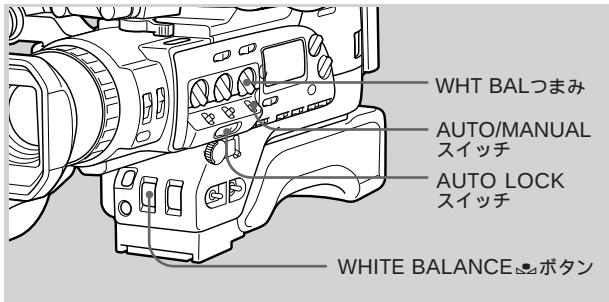
ファインダー内の☼表示

- 遅い点滅：ホワイトバランスが未設定
- 速い点滅：ホワイトバランスを調整中
- 点灯： ホワイトバランス設定終了

WHITE BALANCE☼ボタンを押しても☼表示が点滅から点灯に変わらないとき
AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にして自動調節にします。
☼表示は消えます。

スタジオ照明やビデオライトで撮影するときは
☼を選んで撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、☼を選んで撮影することをおすすめします。☼を出して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に、
AUTO LOCKスイッチを「OFF」にする。
- 2 WHT BALつまみ下側のAUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 3 WHT BALつまみを回して選ぶ。
☼(屋内) ※(屋外) ☼のいずれか選んだ表示がファインダーに出る。
自動調節のときは表示は出ません。

ホワイトバランスを自動調節に戻す

ホワイトバランスのAUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にする。

ファインダーから表示が消える。

使いこなす—撮影時の調節—

自然な色あいに調節する—ホワイトバランス(つづき)

光源が変わったときは

- 撮影スタンバイ中にホワイトバランスを合わせなおしてください。ただし、撮影中は WHITE BALANCE  ボタンを押しても設定されません。
- アイリスやシャッタースピードはホワイトバランスと関連があります。それらを手動調節で設定しておいて、そのまま屋外から屋内、または屋内から屋外に移動した場合は、AUTO LOCKスイッチを1度「ON」にして、その後にもう1度「OFF」にして調節してください。
- AUTO LOCKスイッチが「ON」で撮影していて、屋外から屋内、または屋内から屋外へ移動した場合、あるいはバッテリーを交換した場合、スタンバイスイッチを押し上げてからレンズを10秒間くらい白い被写体に向けてください。それから撮影を始めるとよりよい色あいに調節されます。

手動で色あいを調節したほうがよい場合

撮影条件例

ホワイトバランス表示

- | | |
|------------------------------|--|
| • パーティー会場など照明条件が変化する場所でも撮るとき |  (屋内)にする。 |
| • スタジオなどビデオライトの下でも撮るとき | |
| • ナトリウムランプや水銀灯の下でも撮るとき | |
| • 夜景やネオン、花火などを撮るとき | |
| • 日の出、日没などを撮るとき |  (屋外)にする。 |
| • 昼光色蛍光灯の下でも撮るとき | |
| • 単一色の被写体や背景を撮るとき |  にする。 |

WHITE BALANCE (ワンブッシュホワイトバランス) ボタンを使った調節

被写体を照らす照明条件が固定の場合、その条件のまま撮影できる機能です。被写体のまわりの条件に影響されないで、被写体そのものの色を自然に出します。ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をとりはずしても、約1時間は設定した条件を記憶しています。

- 1 [撮影スタンバイ中] に、
AUTO LOCKスイッチを「OFF」にする。
- 2 WHT BALつまみ下側のAUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 3 WHT BALつまみを回して  を選ぶ。
- 4 白い被写体(紙、壁など)をファインダーいっぱい映す。
- 5 WHITE BALANCE  ボタンを押す。
ファインダー内の  表示が、早い点滅に変わる。
ホワイトバランスが調節されてビデオカメラに記憶されると、点灯に変わる。

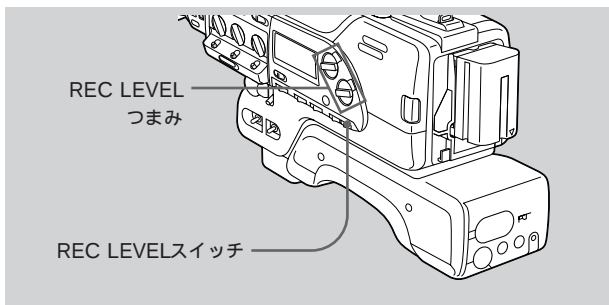
録音レベルを調節する

録音するときの音の大きさ(録音レベル)を設定します。また、外部マイクを接続してナ

レーションを同時に録音することができません。

音声を確認するときは

- 内蔵スピーカーで聞く：
SPEAKERスイッチを「ON」にします。
このとき音声はモノラルになります。
- ヘッドホンで聞く：
○(ヘッドホン)端子に
ヘッドホン(別売り)を差し込みます。
- 音量を調節する：
MONITOR LEVELつまみで調節します。
- L(左)側、R(右)側、ステレオで聞く：
AUDIO MONITORスイッチで聞くチャンネルを選びます。



録音レベルを確認する

表示窓のREC LEVEL表示で音量の確認ができます。手動調節の音量が大きくなりすぎるとPEAKランプが点灯します。このときは、手動調節で音量を調節します。



録音レベルを自動で調節する

REC LEVELスイッチを「AUTO」にする。



録音レベルを手動で調節する

① REC LEVELスイッチを「MANU」にする。

② REC LEVELつまみ「L」と「R」をそれぞれ回して録音レベルを調節する。

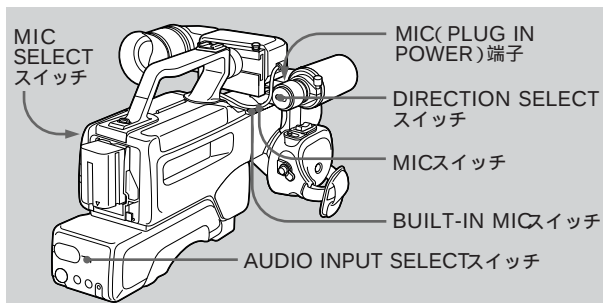
PEAKランプが点灯しないようにして、-12dBから0dBの間でレベルを調節する。

録音レベルを調節する(つづき)

音声モードはDV方式では12ビットの音声モードを選ぶと、ステレオ1とステレオ2の2つのステレオ録音ができます。本機ではAUDIO MODEスイッチで「12BIT」に設定して撮影したとき、音声はステレオ1のみに録音されます。

マイクの音を調節する

AUDIO INPUT SELECTスイッチを「MIC」にする。



音量が大きく一時的にレベルを下げたいとき
MIC スイッチを「ATT」にする。
通常は  グリーンポジションにします。

風の音を防ぎたいとき
BUILT-IN MIC スイッチを「WIND」にする。この機能は内蔵マイクにのみ働く。
通常は  グリーンポジションにします。

マイクの指向角を切り換えるとき
DIRECTION SELECT スイッチで0°、90°、120°を選ぶ。0°を選ぶとマイクの音はモノラルになります。

外部マイクを使うとき
外部マイク(別売り)をMIC (PLUG IN POWER) 端子に接続する。BUILT-IN MIC スイッチでの風音低減機能は働きません。

外部マイクで同時にナレーションを入れるとき
MIC SELECT スイッチを切り換える。
NORM: 外部マイクの音声が録音されます。
DUAL: 外部マイクの音声が〔左〕チャンネルに録音されます。
内蔵マイクの音声が〔右〕チャンネルに録音されます。
このとき、各チャンネルの音声はモノラルになります。

画質設定を記憶させる - カスタムプリセット

好みに合わせた画質で撮影できるように、あらかじめビデオカメラを調節できます。この機能を使って撮影するときには、必ずビデオカメラをテレビにつないで画像を確認しながら調節してください。

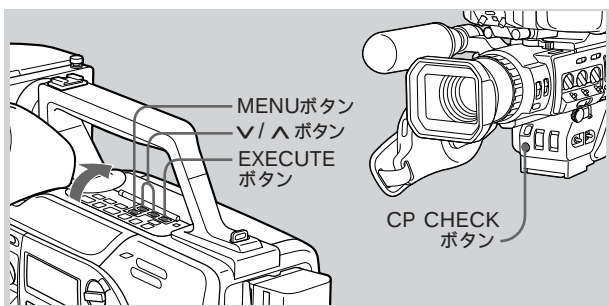


明るさや色あいをあらかじめ自分で調節しておいて撮影するとき。

ご注意

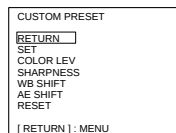
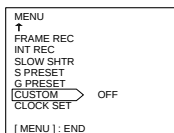
手動調節でアイリス、シャッタースピード、ゲインを設定しているときは、AE SHIFTは変更できません。

カスタムプリセットを「OFF」にすると出荷時の画質設定で撮影できます。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。

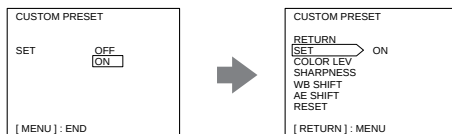
- 2 ▼または△ボタンを押して「CUSTOM」を選び、EXECUTEボタンを押す。
カスタムプリセットの画面が出ます。



- 3 ▼または△ボタンを押して「SET」を選び、EXECUTEボタンを押す。

画質設定を記憶させる - カスタムプリセット(つづき)

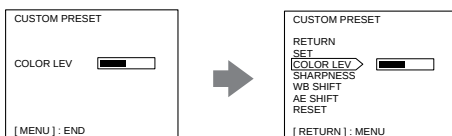
- ④ **✓** または **△** ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。



- ⑤ **✓** または **△** ボタンを押して設定したい項目を選び、EXECUTEボタンを押す。

- ⑥ テレビに映る画像を見ながら、**✓** または **△** ボタンを押して画質を調節し、EXECUTEボタンを押す。

標準値に対して、上下3段階の調節ができます。



設定	設定内容	画像の変化
COLOR LEV (色のこさ)	お好みの濃さに	薄くなる↔濃くなる
SHARPNESS	画像の輪郭	柔らかな画像になる↔ くっきりした画像になる
WB SHIFT	お好みの色あいに	青味がかかる↔ 赤味がかかる
AE SHIFT	お好みの明るさに	暗めに撮影する↔ 明るめに撮影する

- ⑦ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

カスタムプリセット機能で設定した画質で撮影する
メニューの「CUSTOM」の「SET」を「ON」にする。
ファインダーにCP表示が出る。

カスタムプリセット機能を使った撮影をやめる
メニューの「CUSTOM」の「SET」を「OFF」にする。
CP表示が消える。

カスタムプリセットの設定を標準に戻す
手順5で「RESET」を選び、EXECUTEボタンを押す。

カスタムプリセットの設定を確認する
撮影スタンバイ中または撮影中に、CP CHECKボタンを押す。
カスタムプリセットの設定がファインダーに表示される。

場面を頭出しする

現在のテープ位置から前後の録画を探せません。

いつ使う?

録画を始めた部分を後で探したいとき。

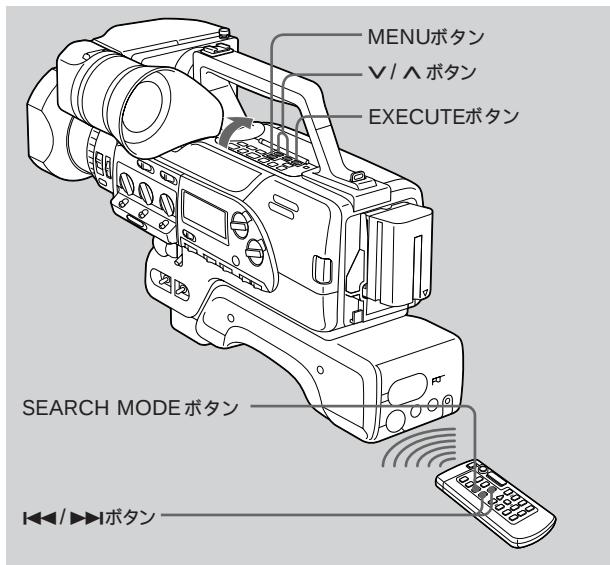
途中で記録されていない部分があるテープでは正確にサーチできなかったり、データが正しく保存されなかったりする場合があります。

現在のテープの位置が、頭出ししたい場面の先頭と近すぎる場合は頭出しできないことがあります。

カセットメモリー(**CM** マーク)が付いているカセットを使う場合は

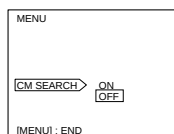
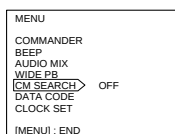
- 必ずボタン型リチウム電池がセットされた状態で使ってください。
- カセットの金メッキ端子を汚さないようご注意ください。カセットメモリーサーチが正しく働かないことがあります。詳しくは73ページをご覧ください。

メモリーが付いていないカセットを使った場合はメニューで「CM SEARCH」を「ON」にしてもカセットメモリーサーチはできません。



撮影日時を画面に出して頭出しする - カセットメモリーサーチ機能

- 1 [VTR]のとき
操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。
- 2 VまたはHボタンを押して「CM SEARCH」を選び、EXECUTEボタンを押す。



頭出し後は

日付サーチ時は再生に、フォトサーチ時は一時停止状態になります。

短いカーソルについて

前回長いカーソルで頭出しした位置を表します。

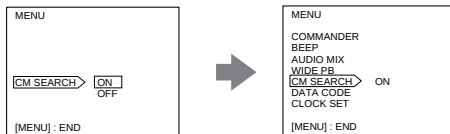
4キロビットのカセットを使うと

カセットメモリーサーチで日付サーチは6日分まで、フォトサーチは43枚分まで頭出しできます。

カセットのCII4Kマークについて

この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット(CII16Kマークが本体側面についています)まで対応しています。

- 3 **▽** または **△** ボタンを押して「ON」を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 4 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

- 5 リモコンのSEARCH MODEボタンを押してDATE SEARCHかPHOTO SEARCHを選ぶ。

DATE SEARCH	
1	96. 10.24
2	96. 11. 3
3	96. 11.23
4	96. 12.24
5	96. 12.25
6	96. 1. 1

日付サーチ：
日付で探すとき

PHOTO SEARCH		
1	96. 10.24	3:52PM
2	96. 11. 3	10:29AM
3	96. 11.23	8:12AM
4	96. 12.24	4:15PM
5	96. 12.25	9:43PM
6	96. 1. 1	12:05PM

フォトサーチ：
静止画だけを探すとき

- 6 **◀◀** または **▶▶** ボタンを押して、頭出ししたい録画の日付(またはフォト)番号を選ぶ。

カセットメモリーサーチが始まる。

長いカーソルで頭出ししたい番号を選びます。(◀◀で上に動き、▶▶で下に動く。)

DATE SEARCH	
1	96. 10.24
2	96. 11. 3
3	96. 11.23
4	96. 12.24
5	96. 12.25
6	96. 1. 1

日付サーチの画面

PHOTO SEARCH		
1	96. 10.24	3:52PM
2	96. 11. 3	10:29AM
3	96. 11.23	8:12AM
4	96. 12.24	4:15PM
5	96. 12.25	9:43PM
6	96. 1. 1	12:05PM

フォトサーチの画面

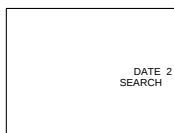
サーチを止める

□STOPボタンを押す。

場面を頭出しする(つづき)

カセットメモリー機能を使わずに頭出しする

- ① [VTR] のとき
操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。
- ② **▼** または **▲** ボタンを押して「CM SEARCH」を選び、EXECUTEボタンを押す。
- ③ **▼** または **▲** ボタンを押して「OFF」を選び、EXECUTEボタンを押す。
- ④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ⑤ リモコンのSEARCH MODEボタンを押してDATE SEARCHかPHOTO SEARCHを選ぶ。
- ⑥ **◀◀** または **▶▶** ボタンを押して、頭出しを始める。
押した回数だけ、前または後の場面が頭出しされる。
(**◀◀**で数が減り、**▶▶**で数が増える。)



サーチを止める

□STOPボタンを押す。

撮影日時と撮影情報を画面に出す・データコード

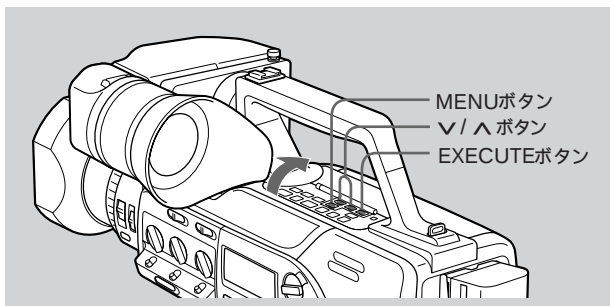
本機は、撮影時の日付、時刻およびビデオカメラの設定を自動的に画像とは別にテープに記録しています(データコード機能)。再生時に希望の場所を出したり消したりできます。

いつ使う?

再生中に撮影したときの日付・時刻や設定を確認したいとき。

次のときは、--:--:--を表示します。

- 何も記録されていない部分
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ

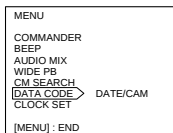


① [VTR]のとき

操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。

② VまたはΔ ボタンを押して「DATA CODE」を選び、EXECUTEボタンを押す。

③ VまたはΔ ボタンを押して希望の表示を選び、EXECUTEボタンを押す。



- 日付とビデオカメラデータを順番に出す
→ 「DATE/CAM」を選ぶ。
- 日付データだけを出す
→ 「DATE」を選ぶ。

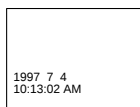
④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

使いこなす—再生—

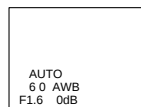
撮影日時と撮影情報を画面に出す - データコード(つづき)

再生中に画面に出すときは

リモコンのDATA CODEボタンを押す。



日時の表示



ビデオカメラの設定表示

押すたびに次のように表示が変わる。

- メニューで「DATE/CAM」を選んだとき

→日時が出る→ビデオカメラの設定が出る→消える

- メニューで「DATE」を選んだとき

→日時が出る→消える

ダビング編集する

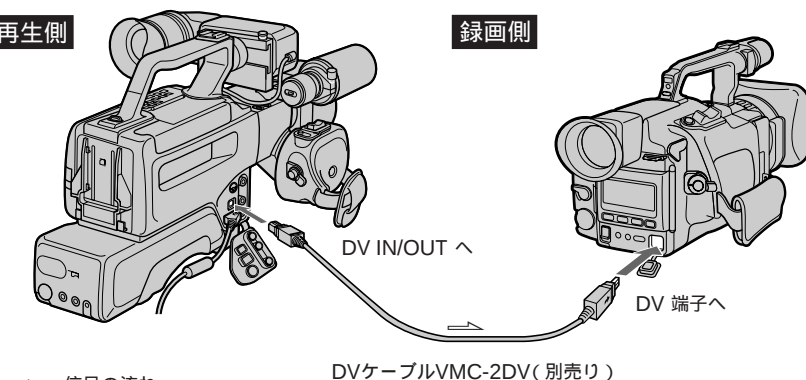
DVケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のDVケーブルVMC-2DV(別売り)でつなぎダビング、編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の

劣化がほとんどありません。なお、DVケーブルで本機と接続できるのは1台だけです。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

再生側

録画側



本機は録画側としても使えます。

DVケーブルをつなぎかえなくても録画機または再生機として使えます。録画機として使うときは、ファインダーやテレビ画面に「DV IN」の表示が出るのを確認してください。両方の機器に出ることもあります。

ダビング編集するときは

●LANC端子をLANCケーブル(別売り)で接続すると、他の機器から本機を制御できて便利です。

再生一時停止にしている画像をDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。

本機を録画側として使用したときカセットメモリーのデータはダビングされません。

- 1 本機に録画済みのカセットを、録画機に録画用のカセットを入れる。
- 2 本機のCAMERA/VTRスイッチを「VTR」にする。
- 3 操作ボタンカバーを開け、本機のテープを再生し、録画機に録画したい場面で■PAUSEボタンを押す。
- 4 録画機を録画一時停止にする。
- 5 本機と録画機の■PAUSE(一時停止)ボタンを同時に押す。

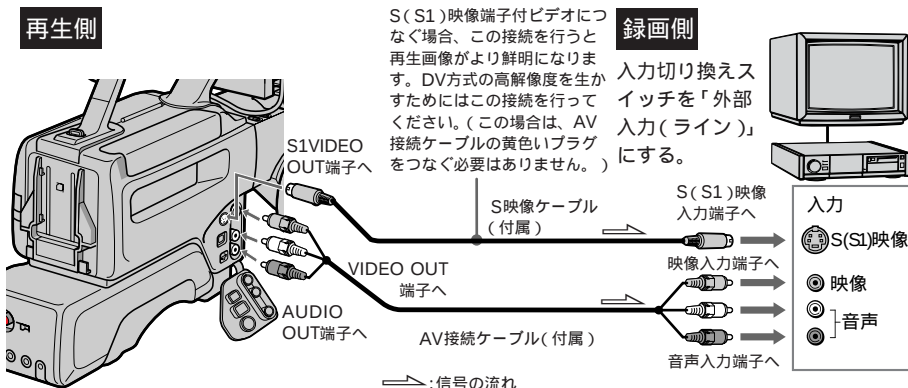
ダビング編集する(つづき)

AV接続ケーブルでつなぐ

本機と他のビデオ機器をAV接続ケーブルでつないで、ダビング・編集ができます。本機は再生機としてお使いください。

相手側のビデオはDV方式だけでなく、以下のどの方式のビデオでも使えます。

8・Hi8・VHS・VHS-C・SVHS・SVHS-C・i8・ED Beta



画面表示を消してからダビングしてください。
消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

ファインシンクロエディット対応

本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能があるビデオデッキと本機のLANC端子をLANCケーブル(別売り)でつなげると、より精度の高い編集ができます。

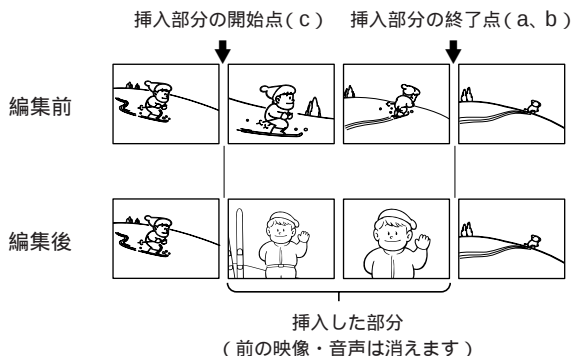
録画側のビデオの音声入力のひとつ(モノラル)の場合AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつなぎません。)音声はモノラルになります。

- 1 本機に録画済みのカセットを、録画機に録画用のカセットを入れる。
- 2 本機のCAMERA/VTRスイッチを「VTR」にする。
- 3 操作ボタンカバーを開け、本機のテープを再生し、録画機に録画したい場面で■PAUSEボタンを押す。
- 4 録画機を録画一時停止にする。
- 5 本機と録画機の■PAUSE(一時停止)ボタンを同時に押す。

記録済みテープに映像と音声を挿入する

DV端子のついたビデオ機器とつなぐと、録画済みテープの指定した部分に、他の映像と音声、撮影日時、ビデオカメラの設定を挿入

できます。59ページの接続と準備をし、他機に挿入したい部分の入ったカセットを入れておきます。



ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えますのでご注意ください。

新しく挿入された部分を再生すると終了点の画像が乱れることがあります。故障ではありません。

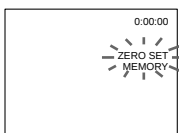
終了点を設定せずに録画するときは手順の3、4をとばして操作します。終了したいところで□STOPボタンを押します。

- 1 本機のCAMERA/VTRスイッチを「VTR」にする。
- 2 他機(再生側)で、挿入したい部分の始めを探し、再生一時停止状態にする。
- 3 本機で、挿入部分の終了点(a)を探し、再生一時停止状態にする。
エディットサーチ(17ページ)を使うと便利です。

記録済みテープに映像と音声を挿入する(つづき)

- 4** 本機のZERO SET MEMORYボタンを押す。

「ZERO SET MEMORY」が点滅し、挿入部分の終了点(b)が記憶され、タイムコードが「0:00:00」になる。



- 5** 本機で、挿入部分の開始点(c)を探し、再生一時停止状態にする。

- 6** 本機を録画一時停止状態にする。



- 7** 再生機と本機の一時停止状態を同時に解除する。

本機の挿入部分に、新たに再生側の映像と音声記録され始める。終了点(タイムコード「0:00:00」)付近で、自動的に本機は停止して、録画が終わり、ゼロセットメモリーが解除されます。

終了点の位置を変える

手順5の後でZERO SET MEMORYボタンをもう1度押し、「ZERO SET MEMORY」表示を消して、手順2からやり直す。

途中で止める

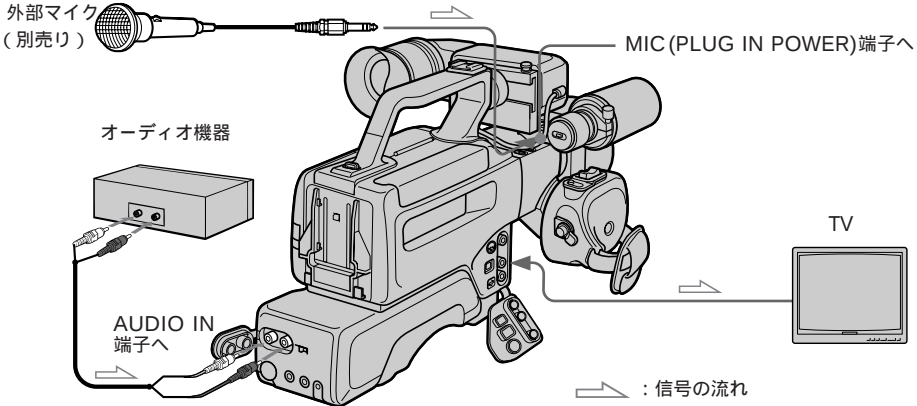
□STOPボタンを押す。

ナレーションや音楽を追加する - アフレコ

12 ビットモードで記録された録画済みテープに、後から音楽やナレーションなどの音声を追加できます。これをアフレコといいます。アフレコする音声は、テープのステレオ

2に記録されます。ステレオ1の音声はそのまま残ります。

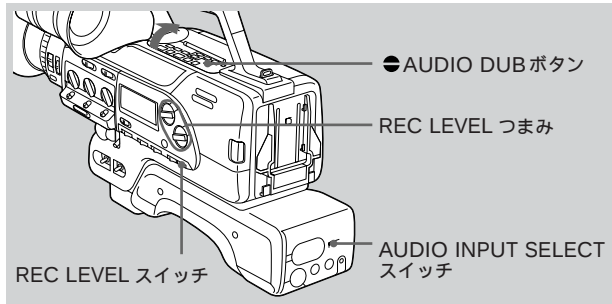
外部マイク（別売り）を使わないときは、内蔵マイクでアフレコすることもできます。



ご注意

16 ビットモードで記録されたテープにはアフレコはできません。

ステレオ1とステレオ2の音量バランスはメニューの「AUDIO MIX」で調節できます。（66ページ）



① AUDIO INPUT SELECTスイッチで音声入力を切り換える。

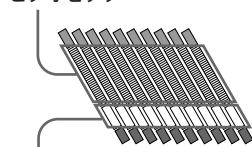
入力	AUDIO INPUT SELECT スイッチの位置
オーディオ機器	LINE
外部マイク	MIC
内蔵マイク	MIC

ナレーションや音楽を追加する - アフレコ(つづき)

記録パターン概念図

16 ビットモード

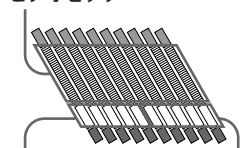
ビデオセクター



オーディオセクター

12 ビットモード

ビデオセクター



ステレオ2 ステレオ1
オーディオセクターを2つに
分割して2種類の音声を記録
できます。

- 2 操作ボタンカバーを開け、テープを再生し、アフレコを始めたい場面で■PAUSEボタンを押す。

- 3 ●AUDIO DUBボタンを押す。

- 4 録音レベルを調節する。

自動で調節するときはREC LEVELスイッチを「AUTO」にする。

手動で調節するときはREC LEVELスイッチを「MANU」にし、REC LEVELつまみで調節する。(49ページ)

- 5 ■PAUSEボタンを押すと同時に、オーディオ機器の再生またはナレーションを始める
テープのステレオ2に音声記録され始める。

一時停止する

■PAUSEボタンを押す。再開するときはもう1度押す。

アフレコを止める

□STOPボタンを押す。

終了点を決めておきたいとき

手順2の前にアフレコを終了したい場面を探して一時停止状態にし、ZERO SET MEMORYボタンを押す。この後手順2以降の操作をする。終了点付近で自動的にテープは停止する。

バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど、長時間使用する バッテリー切れの心配なく使えます。
ときは家庭用コンセントの電源を使うと、

ご注意

ACパワーアダプターAC-V615 以外は、使用しないでください。

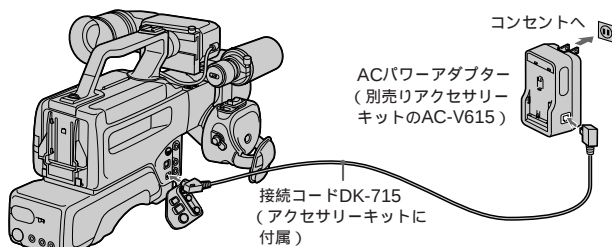
コンセントにつないで使うとき

接続コードを引っばらないようにしてください。プラグがコンセントから抜けることがあります。コンセントにつないで使うときは、市販の延長コードを使うことをおすすめします。

2個同時充電のときは

ACパワーアダプターの充電ランプと表示窓の表示が消えたら充電完了です(実用充電)。どちらかが点灯していたら、両方とも実用充電が完了していません。

コンセントにつないで使う



接続コードを取りはずす

接続コードのプラグを持って引き抜いてください。

上の接続をしてバッテリーの充電をする - 本体装着充電

1 上の接続をし本体にバッテリーを取り付ける。

2 POWERスイッチを「OFF」にする。

充電中は表示窓に → → → とくり返し表示が出て、本体に取り付けたバッテリーを充電する。充電終了後、表示は消える(実用充電)。

このとき、ACパワーアダプターにバッテリーを取り付けておくと2個同時に充電します。

使いこなす—その他—

メニューで設定を変える

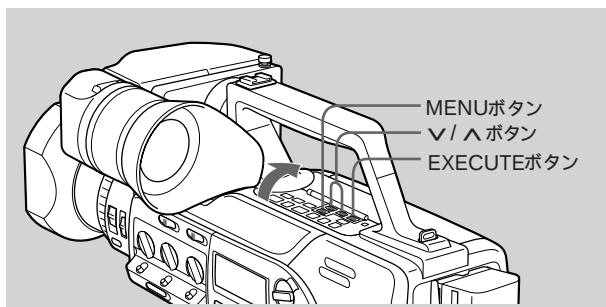
デジタルズームを使うなどの設定や確認ができます。

CAMERA/VTRスイッチが「CAMERA」のときと「VTR」のときでは、メニュー内容が異なります。



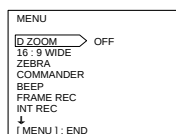
68 ~ 70ページのような各種の設定、確認をしたいとき。

メニューは
テレビ画面上にも出ます。

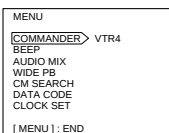


- 1 [撮影スタンバイ中]または[VTR]のとき
操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押す。

撮影スタンバイ中のとき
（「CAMERA」のとき）

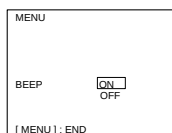
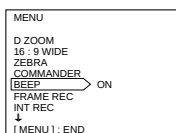


[VTR]のとき



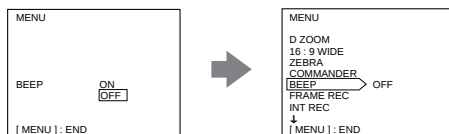
- 2 V または H ボタンを押して希望の項目を選び、EXECUTEボタンを押す。

希望の項目だけが表示されます。



メニュー1項目の設定が3段階になっているものもあります。
手順3を1回多く繰り返します。

-
- ③** **▽**または**△**ボタンを押して設定を切り換え、EXECUTEボタンを押す。



-
- ④** 必要なだけ手順2、3を繰り返す。
-

メニュー画面を消す
MENUボタンを押す。

メニューで設定を変える(つづき)

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

CAMERA/VTRスイッチが「CAMERA」または「VTR」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
COMMANDER	● VTR4	VTR4 モードにしたリモコンで操作する。	通常はこの位置へ。
	OFF	リモコンで操作できなくする。	他機のリモコンによって誤動作するときなど。
	ID	ID番号を登録したリモコンで操作する。	本機を自分で登録したリモコン以外で操作できなくするとき。
	ID SET	ID番号を登録する。	ID番号を登録するとき。
BEEP	● ON	撮影スタート/ストップ時や誤った操作をしたときにブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
	OFF	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
CLOCK SET	—	—	時計を合わせ直すとき。 →詳しくは71ページ

CAMERA/VTRスイッチが「CAMERA」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
D ZOOM	● OFF	デジタルズームを使用しない。(ズームは10倍まで)	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき。
	ON	ズームが10倍を超えるとデジタルズームが働く。(20倍まで)	通常のズーム(10倍)でも被写体が小さいとき。
16:9WIDE	● OFF	ワイド録画モードにしない。	通常はこの位置へ。
	ON	ワイド録画モードにする。	横縦比16:9のワイド(横長)で撮影したいとき。
ZEBRA	● OFF	ゼブラパターンを表示させない。	通常はこの位置へ。
	ON	ゼブラパターンを表示させる。	「白とび」が起こっていないか確かめるとき。

DIGITAL MODEスイッチが「OVERLAP」のときは「D ZOOM」と「16:9WIDE」は「OFF」の表示しか出ず、自動的に「OFF」の設定で撮影されます。

リモコンのID登録について
86ページをご覧ください。

CAMERA/VTRスイッチが「CAMERA」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
FRAME REC	● OFF	コマ撮り機能を働かせない。	コマ撮りをしないとき。
	ON	コマ撮り機能を働かせる。	コマ撮りをするとき。
INT REC	RETURN	メインメニューに戻る。	-
	SET (● OFF/ON)	インターバル録画機能を働かせない。 / 働かせる。	通常はOFF / インターバル録画をするとき。
	INTERVAL	インターバル録画の待機時間を設定する。	インターバル録画の待機時間を変えたいとき。
	REC TIME	インターバル録画の録画時間を設定する。	インターバル録画の録画時間を変えたいとき。
SLOW SHTR	4	SHUTTER SPEEDつまみの「SLOW」の位置にプリセットするシャッタースピードを設定する。	スローシャッターで撮るとき。
	8		
	15		
	● 30		
S PRESET	60	SHUTTER SPEEDつまみの「PRESET」の位置にプリセットするシャッタースピードを設定する。	高速シャッターで撮るときや、好みのシャッタースピードを設定しておきたいとき。
	100		
	250		
	500		
	1000		
	2000		
	● 4000		
	10000		
G PRESET	-3dB	GAINつまみの「PRESET」の位置にプリセットするゲインを設定する。	好みのゲインを設定しておきたいとき。
	0dB		
	3dB		
	6dB		
	9dB		
	● 12dB		
	15dB		
	18dB		

メニューの設定は
ボタン型リチウム電池が入って
いれば電源を外しても保持され
ます。ただし、「FRAME
REC」と「INT REC」のON /
OFFの設定は、次の場合お買い
上げ時の設定に戻ります。

- 電源を切ったり、外したとき
- 「VTR」に切り換えたとき
- フォトモードに切り換えたとき

スタンバイスイッチがPHOTO
STANDBYのとき
「FRAME REC」と「INT
REC」のON / OFFの設定は、
自動的に「OFF」に設定されま
す。

メニューで設定を変える(つづき)

CAMERA/VTRスイッチが「CAMERA」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
CUSTOM	RETURN	メインメニューに戻る。	-
	SET (●OFF/ON)	カスタムプリセット機能を働かせない。/ 働かせる。	通常はOFF / カスタムプリセット機能を働かせるとき。
	COLOR LEV	プリセットする色の濃さを設定する。	録画する画像の色の濃さを変えたいとき。
	SHARPNESS	プリセットするシャープネスを設定する。	録画する画像をくっきりさせたり、ぼかしたりしたいとき。
	WB SHIFT	プリセットするWBシフトを設定する。	撮影時の色あいを変えたいとき。
	AE SHIFT	プリセットするAEシフトを設定する。	撮影時の明るさを変えたいとき。
	RESET	カスタムプリセット機能の設定を、お買い上げ時の設定に戻す。	カスタムプリセットのすべての設定をいったん元に戻したいとき。

CAMERA/VTRスイッチが「VTR」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
AUDIO MIX	ST1  ST2	音声モードST1  ST2 間のバランスを調節する。	ステレオ1またはステレオ2のどちらかを大きくしたいとき。
WIDE PB	● OFF	16 : 9のワイドで再生しない。	通常はこの位置へ。
	ON	16 : 9のワイドで撮影した画像をシネマモードで再生する。	ワイドで撮影した画像を通常の4 : 3のテレビで上下に黒い帯の出る16 : 9のシネマモードで見たいとき。
CM SEARCH	● ON	カセットメモリーサーチ機能を働かせる。	撮影時の情報を一覧しながら頭出ししたいとき。(カセットメモリー付きのカセットをお使いのときのみできます。)
	OFF	カセットメモリーサーチ機能を働かせない。	カセットメモリーを使わずに頭出しをしたいとき。
DATA CODE	● DATE/CAM	日付とビデオカメラの設定を表示する。	日付とビデオカメラの設定を確認したいとき。
	DATE	日付を表示する。	日付だけを確認したいとき。

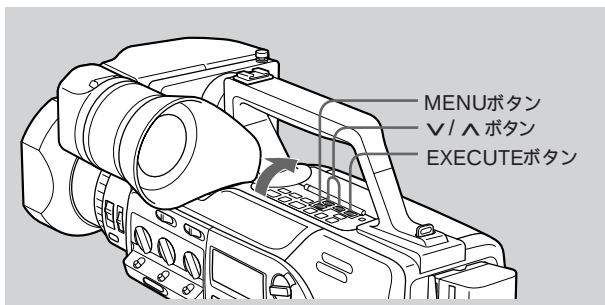
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

いつ使う?

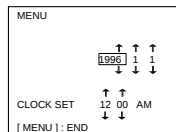
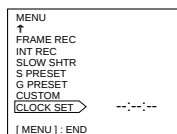
- 海外に行くとき
- 電源を取り付けないでボタン型リチウム電池を交換したとき。

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。



年→月→日→時→分の順で合わせます。

- 1 [撮影スタンバイ中]または[VTR]のとき
操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。
- 2 VまたはΛボタンを押して「CLOCK SET」を選び、EXECUTEボタンを押す。



使いこなす—その他—

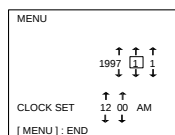
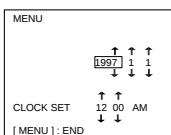
日付・時刻を合わせ直す(つづき)

③ 「年」を合わせる。

▼または▲ボタンを押して「年」を選び、EXECUTEボタンを押す。

年表示は次のように変わる。

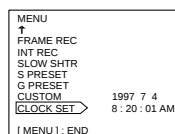
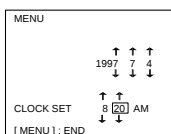
→ 1996 → 1997 → 2000 → 2026 →



④ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

⑤ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にEXECUTEボタンを押す。
時計が動き始める。



⑥ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、DVカセットのみ使えます。

DVマークのついたカセットをお使いください。^{Mini}**DV**マークのついたカセットは使えません。

8・**Hi8**方式や、**VHS**・**VHS-C**・**SVHS**・**SVHS-C**・**Hi8**・**ED Beta**方式のビデオカセットは使えません。

著作権信号について

再生するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で再生して見ることはできません。このようなカセットを再生しようとするとテレビ画面やファインダーに「COPY INHIBIT(コピー禁止)」の表示が現われます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットをDVケーブルを通じて本機で録画することはできません。このようなカセットの再生信号が本機に入力されると、テレビ画面やファインダーに「COPY INHIBIT(コピー禁止)」の表示が現われます。

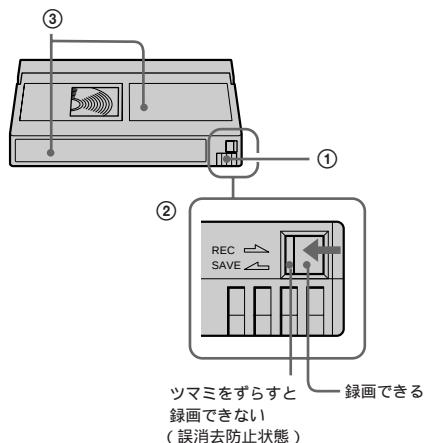
DVカセットについてのご注意

DVカセットの金メッキ端子について

下図①の金メッキ端子が汚れたり、ごみが付着したりすると、カセットメモリーサーチ機能などが正しく働かないことがあります。カセットの取り出し回数10数回をめやすにして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

間違って消さないために

カセットの背にある下図②の誤消去防止ツマミを横にずらして、「赤」にします。



注意など

本機は、MEテープで最高の画質が得られるように作られています。それ以外のテープを使用すると、十分な画質を得られない場合があります。貴重な記録を高画質で残せるように、MEテープのご使用をおすすめします。

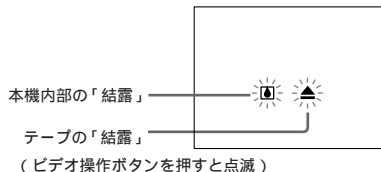
DVカセットにラベルを貼るときは
上図③の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。

DVカセットを保管するときは必ずテープを始めまで巻き戻してください。(画像や音声がかかる原因になります。)カセットはケースに入れて、立てて保管するようにしてください。

お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因となります。結露が起ると、ファインダーに下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、EJECT▲ボタン以外は動きません。

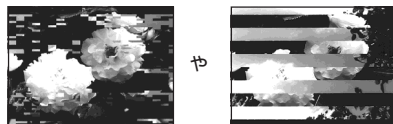
電源を切ってカセットぶたを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れても警告表示が出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。次のような症状になったときは、別売りのクリーニングカセットDV-12CLを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ・ファインダー内に⊗が点滅する。
- ・再生画像に四角いノイズが出る。
- ・再生画像の一部が動かない。
- ・再生画像が出ない。

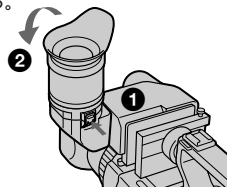
ビデオヘッドが汚れているときの画像



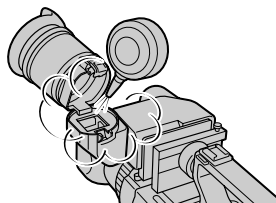
このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

ビューファインダーをきれいにする

- 1 PUSHボタンを押して、
- 2 接眼部をはね上げる。



- 2 カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。



結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- ・スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- ・冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- ・スコールや夏の夕立のあと
- ・温泉などの高温多湿の場所

結露を起りにくくするために本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると磨耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの磨耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持するためです。

電池は市販のボタン型リチウム電池 CR2025 を使用してください。

いつ使う?

CAMERA/VTR スイッチを「CAMERA」にするとファインダーに  が点滅するとき。

+ (プラス) 面 - (マイナス) 面

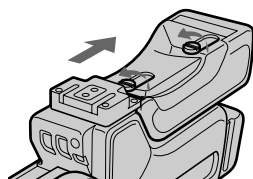


ボタン型リチウム電池について

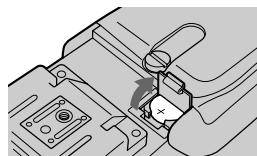
- ボタン型リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は1年もたないことがあります。

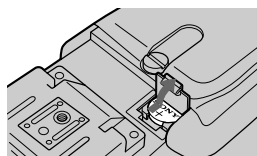
- 1 肩あてを固定している2本のネジをゆるめ、肩あてをスライドさせる。



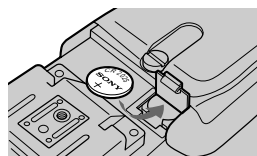
- 2 ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。



- 3 ボタン型リチウム電池を押し下げながら、引き出す。



- 4 新しいボタン型リチウム電池 CR2025 を + (プラス) 面が見えるようにはめ込む。



- 5 ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。
- 6 肩あてを元の位置に戻し、ネジをしめる。

注意など

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみしましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センターまたはDCR-VX9000

テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。ファインダーに見慣れない表示がでたときは、90ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	参照ページ
START / STOP ボタンを押しても テープが走行しない。	• CAMERA / VTRスイッチが「CAMERA」になっていない。	• 「CAMERA」にする。	13
	• テープが終わりになっている。	• 巻き戻すか、新しいテープを入れる。	11、20
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• そのカセットで撮るなら誤消去防止ツマミを赤が見えない側にする。または新しいカセットを入れる。	73
	• テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	• カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	74
	• スタンバイスイッチが「PHOTO STANDBY」になっている。	• スタンバイスイッチを「STANDBY」にする。	13
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れる。	1度スタンバイスイッチを下げてから、もう1度上げる。	13
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	12
手振れ補正が働かない。	STEADY SHOTスイッチが「OFF」になっている。	「ON」にする。	46
オートフォーカスが働かない。	• 手動ピント合わせになっている。	• FOCUSスイッチを「AUTO」にする。	34
	• オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	• 手動でピントを合わせて撮影する。	36
マイクの音が出ない。	AUDIO INPUT SELECTスイッチが「LINE」になっている。	「MIC」にする。	50
ヘッドホン、音声出力からの内蔵マイクの音がモノラルになる。	DIRECTION SELECTスイッチが「0°」になっている。	「90°」または「120°」にする。	50
ファインダー内に⊗が点滅している	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	74

「D ZOOM」 「16:9WIDE」が 「ON」にならない。	DIGITAL MODEスイッチが 「OVERLAP」になっている。	「ZOOM/16:9WIDE」に する。	68
オーバーラップが できない。	DIGITAL MODEスイッチが 「ZOOM/16:9WIDE」になっ ている。	「OVERLAP」にする。	23
スローシャッターになら ない	DIGITAL MODEスイッチが 「OVERLAP」になっている。	「ZOOM/16:9WIDE」に する。	39
ろうそくの火やライト などを暗い背景の中で 撮ると、縦に帯状の線 が出る。	背景とのコントラストが強い被 写体の場合に出る現象で、故障 ではない。	----	—
明るい被写体を写すと 縦に尾を引いたような 画像になる。	スミア現象といい、故障ではな い。	----	—

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタン が働かない。	• CAMRA/VTRスイッチが 「VTR」になっていない。 • テープが終わりになっている。	• 「VTR」にする。 • テープを巻き戻す。	19 20
画像がぼけたり、映ら なかったりする。	テレビのビデオ用チャンネルが 正しく調整されていない。	調整し直す。	18
ノイズが多かったり、 映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカ セットできれいにする。	74
音声が小さい。 または聞こえない。	録音レベルを手動で小さくして 撮影した。	----	—

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
POWERスイッチを 「ON」にしても動作 しない。	• バッテリーが消耗している / 取り付けられていない / 消耗 が近い。 • ACパワーアダプターのプラグ がコンセントからはずれてい る。	• 充電されたバッテリー を取り付ける。 • コンセントに差し込 む。	9、10 65

故障かな？と思ったら（つづき）

バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。	-----	—
	• 充電が不十分。	• 十分に充電する。	9
	• バッテリーそのものの寿命。	• 新しいバッテリーに交換する。	10
カセットが取り出せない。	• 電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。	• 電源をきちんと接続する。	65
	• バッテリーが消耗している。	• 充電されたバッテリーを取り付ける。	9、10
■と▲が点滅し、EJECT▲ボタン以外働かない。	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	74

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ダビング編集で、DVケーブルを正しく接続しているのにモニター画像が出ない	-----	• DVケーブルを1度抜いてからもう1度接続しなおしてください。	59
アフレコができない	16ビットモードで記録されたテープにはアフレコできません。	-----	16
付属のリモコンが働かない。	• メニューの「COMMANDER」を「OFF」にしている。	• 「VTR4」または「ID」にする。	68
	• リモコンのIDが登録されていない。	• IDを登録する。	86
	• リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	—
	• リモコンの乾電池の+極と－極が、正しく入っていない。	• +極と－極を合わせて正しく入れる。	85
	• 乾電池そのものの寿命。	• 新しい乾電池に交換する。	85
ファインダー内にゴミが入っている。	-----	接眼部をはね上げて、掃除する。	74

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません

万一、デジタルビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-V615は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の"ソニーご相談窓口のご案内"にあるお近くのソニーサービス窓口、DCR-VX9000 テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

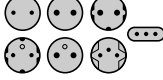
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
↓		
使用する変換アダプター	不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| ・アメリカ合衆国 | ・大韓民国 | ・フィリピン |
| ・エクアドル | ・台湾 | ・ブルトリコ |
| ・エルサルバドル | ・チリ | ・ベネズエラ |
| ・カナダ | ・ドミニカ | ・ペルー |
| ・キューバ | ・トリニダード・バコ | ・米領サモア |
| ・グアテマラ | ・ニカラグア | ・ボリビア |
| ・グアム | ・ハイチ | ・ホンジュラス |
| ・コスタリカ | ・パナマ | ・ミクロネシア |
| ・コロンビア | ・バミューダ | ・ミャンマー |
| ・スリナム | ・バルバドス | ・メキシコ |
| ・セントルシア | | （NHK文研月報による） |

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド
	12ビットモード(非直線)
	32 kHz / (ステレオ1、ステレオ2)
	16ビットモード(直線)
	48 kHz
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	D マークのついたカセット
テープ速度	約18.81 mm/秒
録画 / 再生時間	120 分 (DV-120ME2使用時)
早送り、巻き戻し時間	3分 (DV-120ME2使用時)
撮像素子	1/3 インチCCD固体撮像素子
レンズ	10倍ズームレンズ f = 5.9 ~ 59 mm (35 mmカメラ換算では42 ~ 420mm) F 1.6 ~ 2.1 フィルター径52 mm
色温度切り換え	自動追尾、  *屋内 (3200K) *屋外 (5800K)
最低被写体照度	8ルクス
被写体照度範囲	8 ~ 100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上
シャッタースピード切り換え	1/4 ~ 1/10000
ゲイン切り換え	-3dB ~ 18dB
アイリス切り換え	F1.6 ~ F11、CLOSE

入・出力端子

S1 映像出力端子	4ピンミニDIN(1) 輝度信号 : 1 Vp-p、75 Ω不平衡 色信号 : 0.286 Vp-p、75 Ω不平衡
映像出力端子	ピンジャック(1)、1 Vp-p、75 Ω不平衡
音声出力端子	ピンジャック(2:L、R) 327 mV、(47 kΩ負荷時)インピーダンス2.2 kΩ
RFU DC出力端子	特殊ミニジャックDC5V(1)

ヘッドホン端子	ステレオミニジャック(Ø 3.5)(1)
LANC端子	ステレオミニミニジャック(Ø 2.5)(1)
音声入力端子	ピンジャック(2:L、R) 327 mV、(47 kΩ負荷時)インピーダンス2.2 kΩ以下
外部マイク入力端子	ステレオミニジャック(Ø 3.5)(1)0.388 mV、低インピーダンスマイク用DC2.5 ~ 3V出力、インピーダンス6.8 kΩ
DC入力端子	4ピンコネクター
DV入力 / 出力端子	4ピン特殊コネクター
ビューファインダー接続端子	8ピンコネクター

電源部、その他

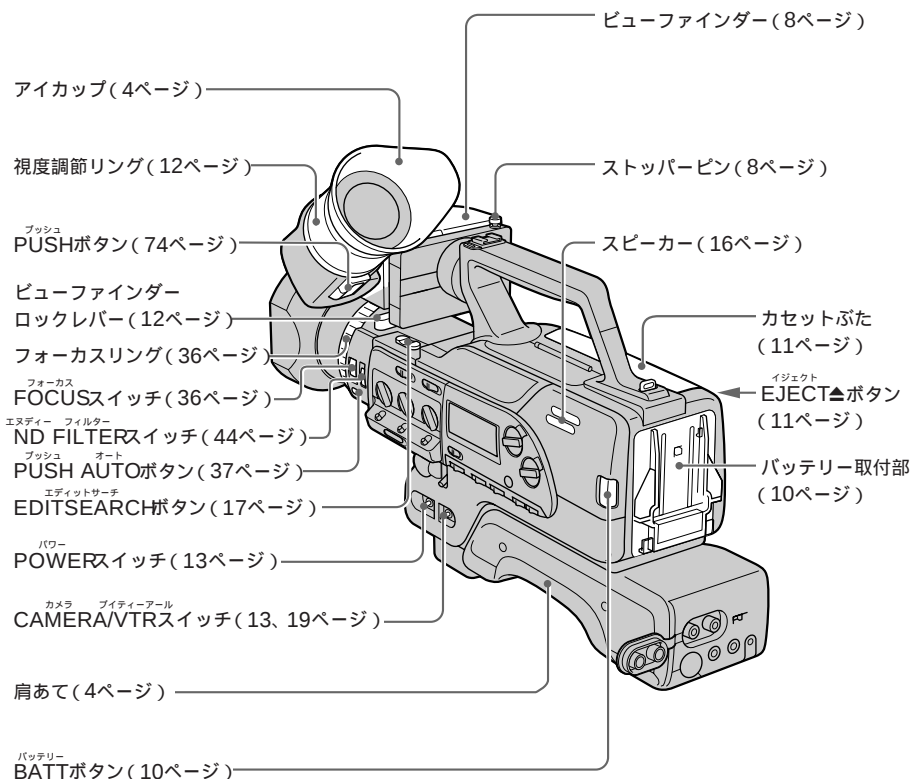
電源電圧	バッテリー端子入力7.2 V 外部電源供給端子入力8.4 V
消費電力	カメラ録画時11.2 W
動作姿勢	水平、垂直
動作温度	0 ~ +40
保存温度	-20 ~ +60
最大外形寸法	216 × 225 × 470 mm(幅 × 高さ × 奥行き) (ビューファインダー収納時)
本体質量	約3.4 kg(バッテリー、ボタン型リチウム電池、テープ含まず)
撮影時総質量	約3.7 kg(バッテリーパックNP-F730、ボタン型リチウム電池CR2025、テープDV-120ME2 含む)
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
内蔵スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ワイヤレスリモコン(1) 単3型乾電池(リモコン用、2) AV接続ケーブル(1) S映像ケーブル(1) ボタン型リチウム電池CR2025(本体に装着済み、1) 肩あて用クッション(1) サイドクッション(2) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

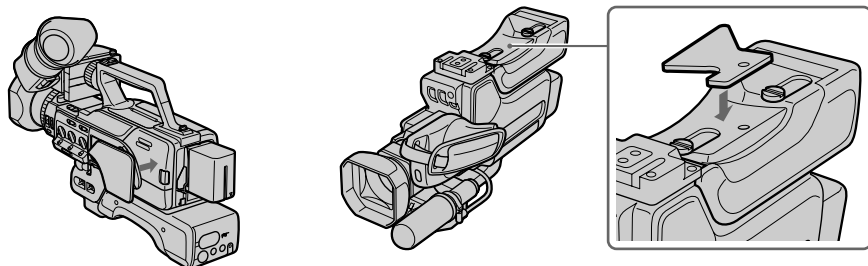
使いかたの説明は、()内のページにあります。

本体



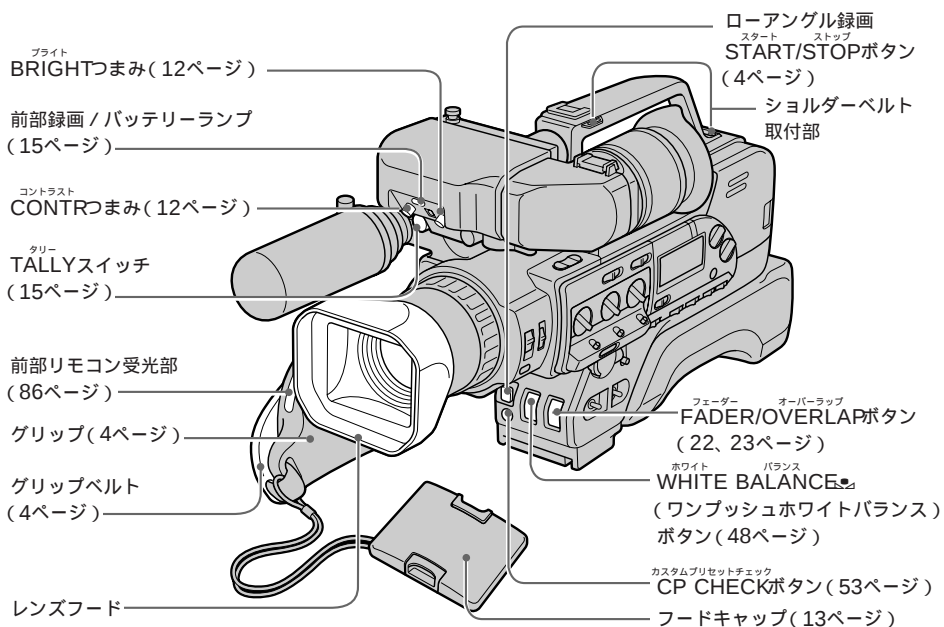
注意

サイドクッション、肩あて用クッションの貼りかた

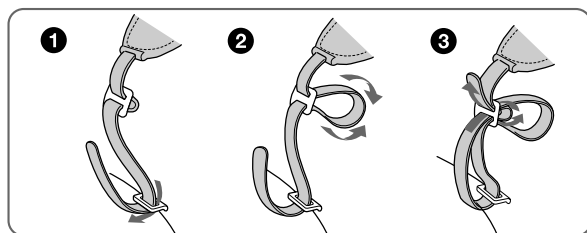


次のページへつづく

各部のなまえ(つづき) 使いかたの説明は、()内のページにあります。



ショルダーベルト(別売り)の取り付けかた



これらは登録商標です。

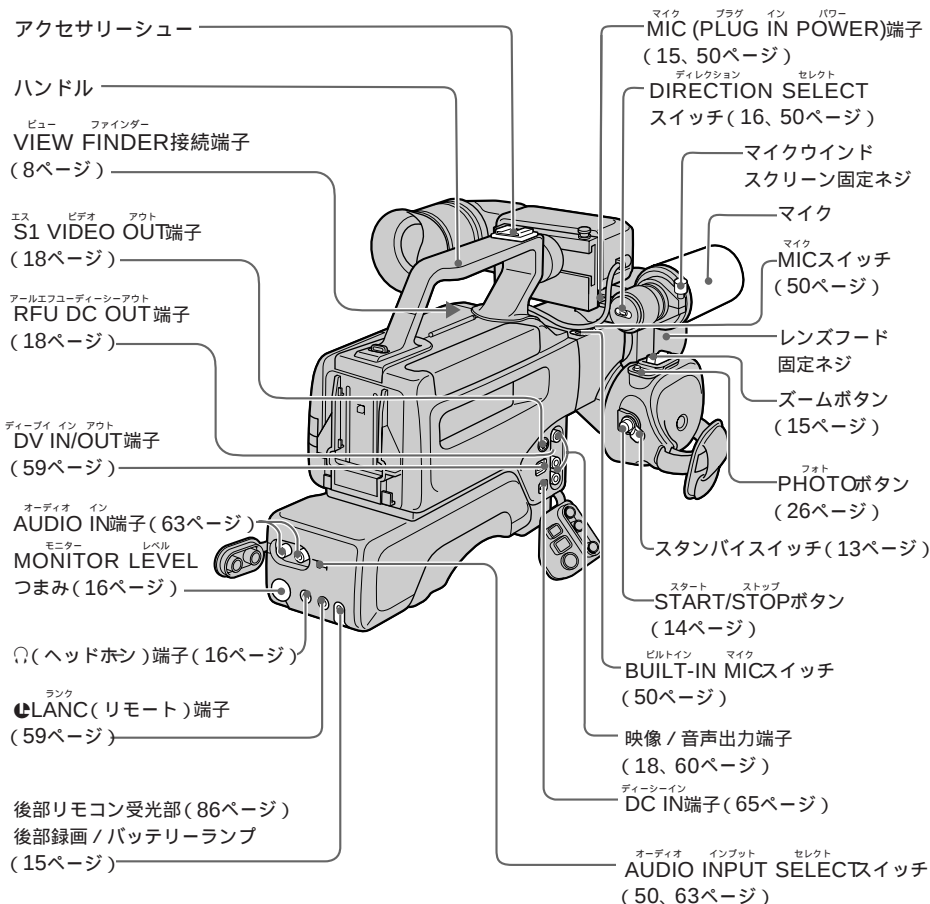
DV
C/II

このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。



ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ機器関連商品をおすすめします。

レンズフードのはずしかた
コンバージョンレンズなどを付けるためにレンズフードをはずすときは、レンズフード固定ネジをゆるめてから、レンズフードを左方向に回して(ねじって)はずします。

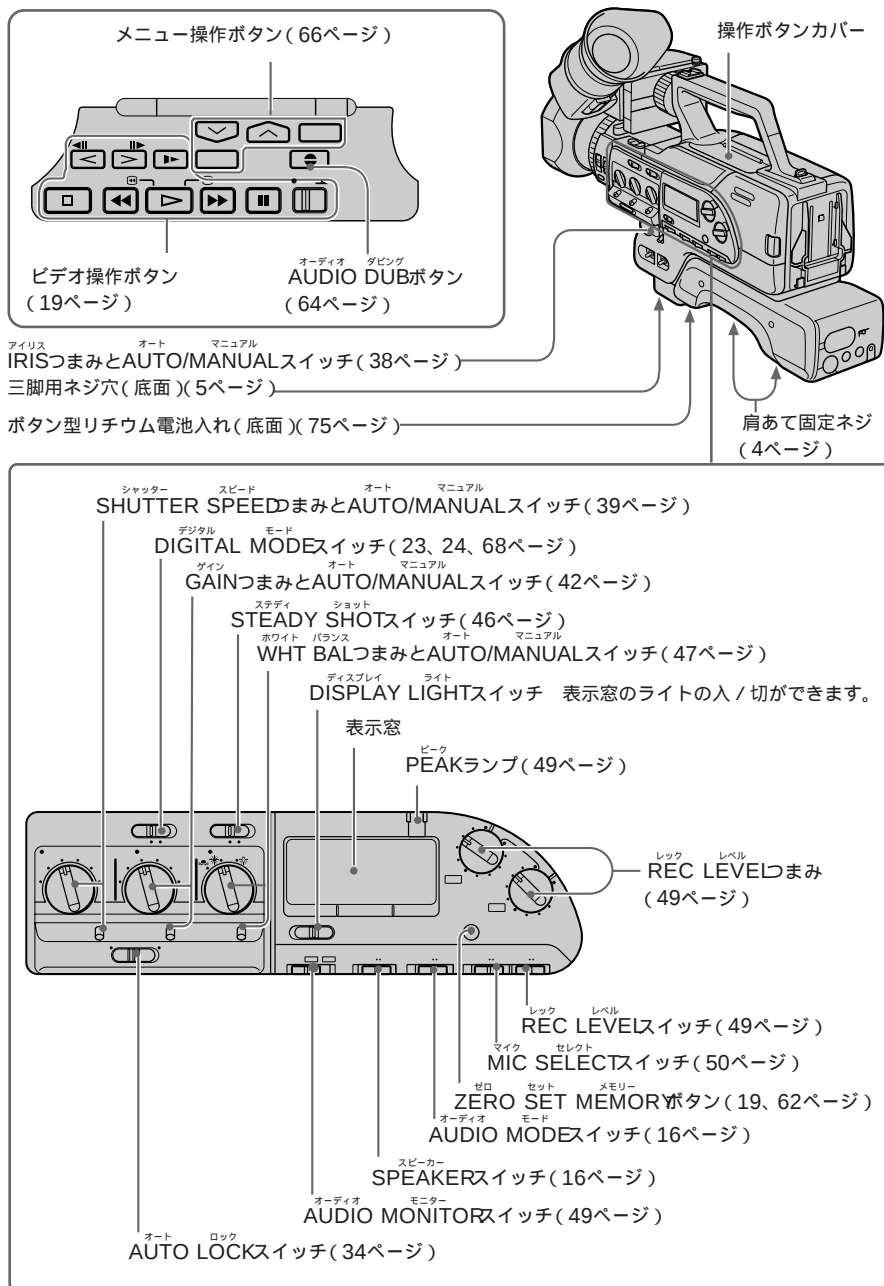


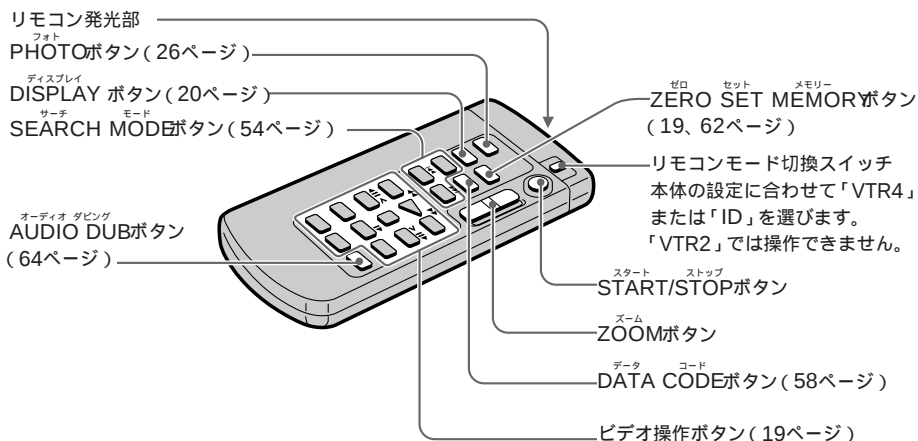
LANC (リモート) マークについて

は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合 MIC (PLUG IN POWER) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイクを使っているときは、BUILT-IN MICスイッチによる風音低減機能は働きません。

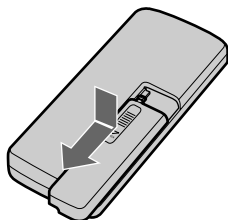
各部のなまえ(つづき) 使いかたの説明は、()内のページにあります。



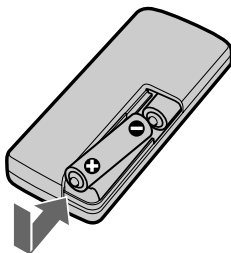


電池の入れかた

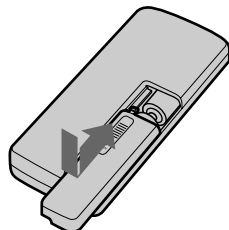
1 押しながらずらす。



2 入れる。



3 もとに戻す。



注意

乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- + と - の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。

- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいってください。

液もれがおこったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。

い。リモコン操作ができないことがあります。

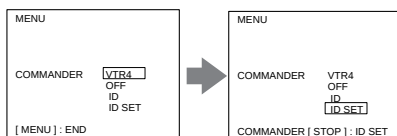
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、本機のリモコンモードを「ID」に切り換えるか、または黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

次のページへつづく

リモコンのIDを登録する

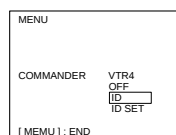
リモコンモード切り換えスイッチを「ID」にすると、他の人のリモコンで動作しないようにできます。「ID」設定した場合には、本体に付属しているリモコンをお使いください。はじめてお使いになるときにリモコンのID登録をしてください。リモコンの登録は、次のようにします。

- 1 操作ボタンカバーを開け、MENUボタンを押してメニュー画面を出す。
- 2 **V**または**^**ボタンで「COMMANDER」を選び、EXECUTボタンを押す。
- 3 **V**ボタンを押して「ID SET」を選ぶ。



- 4 リモコンのリモコンモード切換スイッチを「ID」にする。
- 5 リモコンをリモコン受光部に向けて、リモコンの□STOPボタンを押す。

「ピーッ」と鳴って登録が完了します。メニュー画面のカーソルが「ID」の位置に移ります。



- 6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

リモコンの操作範囲
リモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

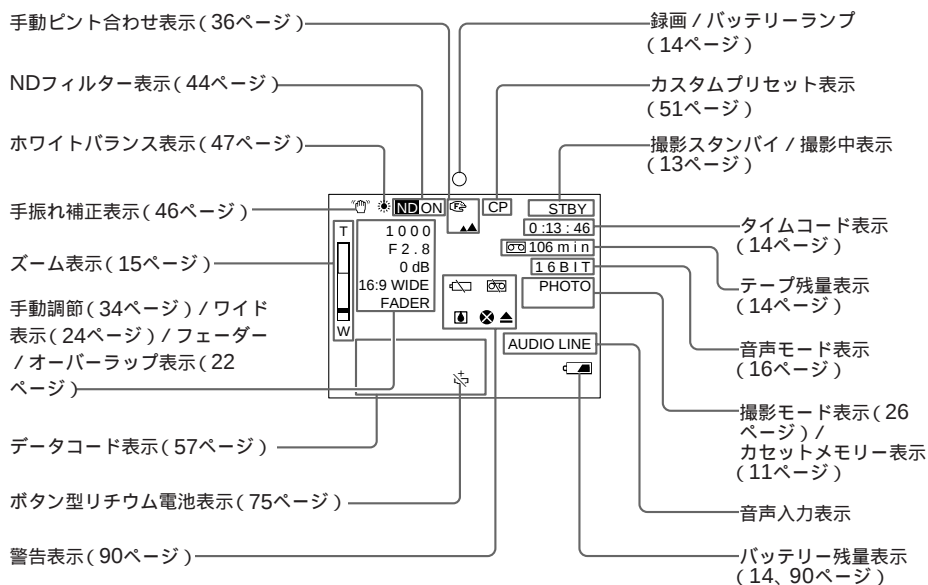
リモコンとリモコン受光部との間には
障害物がないようにご注意ください。

リモコンのIDを1度本機に登録すると
再び登録する必要はありません。メニューを「ID」に含ませ、リモコンのリモコンモード切換スイッチを「ID」にしてお使いください。

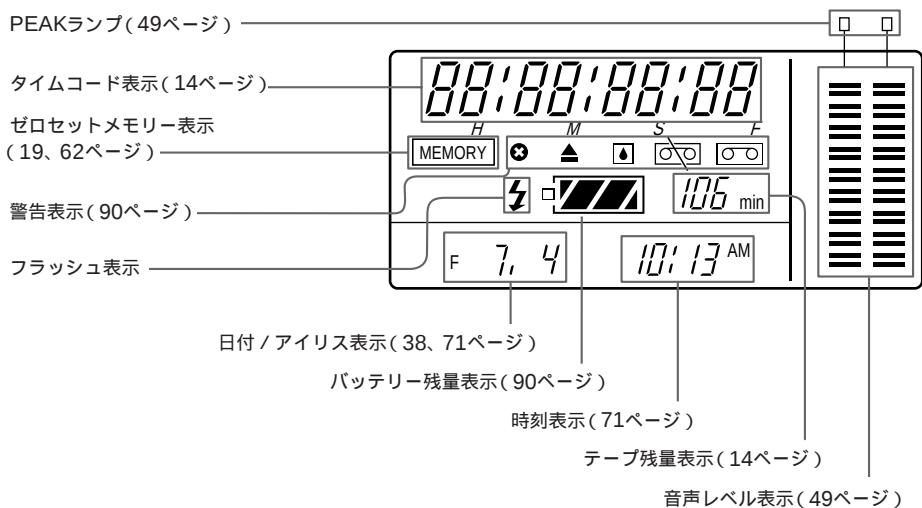
登録したIDは
ボタン型リチウム電池を交換しても消えません。

メニューの「BEEP」を「OFF」にしているときは
手順5の後でも、ブザー音は鳴りません。

ファインダーの表示



表示窓の表示



用語解説

ア行

アイリス...38ページ

絞りのこと。レンズを通る光の量を調節する。

音声モード...16、63ページ

音声の記録モードのこと。DV方式では、次の2種類がある。

12 ビットモード

ステレオ1(撮影時の音声)とステレオ2(アフレコした音声)の2つのステレオ音声で32 kHzで記録できる。本機では再生時にメニューの「AUDIO MIX」でステレオ1とステレオ2のバランスを調節でき、どちらの音声も聞くことができる。

16 ビットモード

ステレオ音声を高音質で記録できるが、アフレコすることはできない。

本機は48 kHzでのみ記録でき、32 kHz、44.1 kHz、48 kHzで記録された音声を再生できる。

カ行

ゲイン...42ページ

映像信号の大きさを電氣的に増幅する度合のこと。被写体が暗いときなどにはゲインを上げる。ただし、ゲインを上げるとノイズが多くなる。

サ行

自動ピント合わせのしくみ...36ページ

自動ピント合わせは、横方向に走査する映像信号からピントを検出する。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

シャッタースピード...39ページ

シャッターが開いている時間のこと。シャッタースピードが早いほど、動いている被写体でもブレの少ない画像を得られる。高速の被写体をはっきり撮影したいときは、シャッタースピードを上げる。

ゼブラパターン...45ページ

ファインダーに出る、被写体の信号レベルを示す縞模様のこと。この模様が出る部分は、白とびすることがある。

タ行

タイムコード...14ページ

テープ上の位置を映像とともに時・分・秒・フレーム(1フレーム=約1/30秒)単位で記録する機能。1フレームが映像の1コマに対応している。DV方式ではフレーム単位でカウントできるので、テープ位置の正確なカウンターとして使える。

データコード...57ページ

テープを録画した日付(年・月・日)時刻(時・分・秒)とビデオカメラの設定をテープに記録する機能。再生時、必要に応じて画面上に表示できる。後から撮影日時と撮影情報の確認をする場合などに使える。

ドロップフレーム方式...14ページ

タイムコードとフレーム間のずれを補正する方式のこと。30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に起きるずれは自動的に補正される。分の単位が更新されるときに、フレームを02から始めることで補正を行う。ただし、分が10の倍数のときは00から始める。

ハ行

被写界深度...38ページ

実用上ピントが合っているように見える範囲のこと。

被写体にピントを合わせると、前後はボケますが、実際にはこの前後についても、ある範囲内ピントがあっているように見えます。この範囲が広いときは「被写界深度が深い」、範囲が狭いときは「被写界深度が浅い」といいます。

ホワイトバランス...47ページ

白い被写体が白く映るように色を調整すること。本機では自動設定、手動設定のほかに※(屋外) ※(屋内)の設定を選ぶ。

ラ行

リモコンモード...68ページ

リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1、VTR2、VTR3、VTR4、IDの5種類ある。本機はVTR4とIDのどちらかを選ぶ。大勢の人が集まって撮影するときや誤動作を避けたいときは、IDモードを選ぶ。

アルファベット順

ディーバイ
DV静止画ビデオキャプチャーボード...27
ページ

デジタルビデオの画像をパソコンに静止画として取り込むためのパソコン用の拡張ボード(基板)。本機のDV端子を使って接続すると、デジタルのまま画像をパソコンに転送できる。市販のアプリケーションソフトウェアを使えばパソコンに取り込んだ画像をさまざまに加工したり、印刷したりできる。

ディーバイ
DV方式...73ページ

コンシューマー向けに新たに開発されたデジタルVTRの方式。映像および音声信号をデジタル信号でテープに記録するため、高画質、高音質で記録できる。

アイディーワン
ID-1方式...24ページ

ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画像の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムのこと。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わる。

アイディーツー
ID-2方式

ID-1方式に加え、著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステム。

エヌディー
NDフィルター...44ページ

アイリスやシャッタースピードを調節することなしに光量を減らすための光学フィルター。本機のNDフィルターは内蔵式で、スイッチで入/切する。

エヌディーエスシー
NTSC方式...79ページ

日本やアメリカ合衆国などで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープはヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。本機を海外で使うときはご注意ください。

アールエフユー
RFUアダプター...18ページ

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に交換し、テレビの1または2チャンネル(国内仕様の場合)で再生できるようにするもの。

エス
エスワン
S映像端子/S1映像端子...18ページ

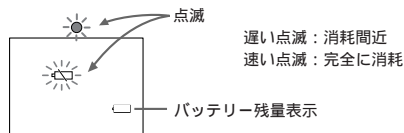
映像信号を構成する色信号と輝度(白黒)信号を分解して、より鮮明な映像を再現する端子。S1映像信号では、通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されている。

警告表示とお知らせメッセージ

ファインダーには、次のような表示が出ます。
詳しい説明は、() 内のページにあります。

- 表示は実際には白色です。
- ♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

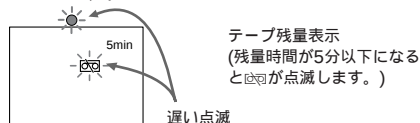


バッテリー残量表示について

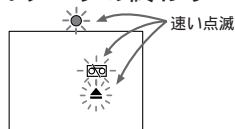


(残量表示が□になるとファインダーに⊗マークが点滅する。)

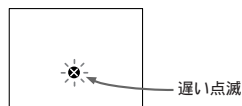
テープ残量



♪テープの終わり



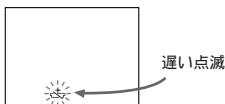
ヘッド汚れ(74ページ)



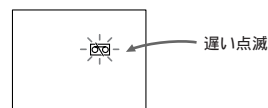
クリーニングカセットできれいにする。

ボタン型リチウム電池の消耗 / ボタン型リチウム電池が入っていない

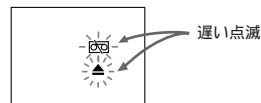
(75ページ)



カセットが入っていない

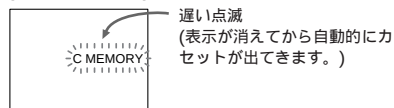


♪カセット誤消去防止(73ページ)

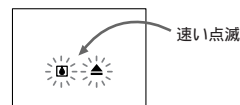


カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

カセットメモリー書き込み中 (11ページ)

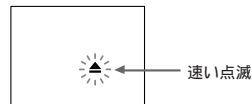


♪結露(74ページ)



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常



1度カセットを取り出す。変わらない場合は1度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

索引

五十音順

ア行

明るさ調節	34
アイリス	38
インターバル録画	28
エディットサーチ	17
オートロック	34
オーバーラップ	23
お手入れ	74
音声モード	16、50

カ行

海外で使うとき	79
外部マイク(別売り)	15
カスタムプリセット	51
カセットメモリーサーチ	54
カラーテレビ方式	79
画質設定	51
グリップベルト	4
警告表示	90
ゲイン	42
結露	74
広角	15
高速アクセス	21
誤消去防止つまみ	73
コマ送り	21
コマ撮り	30

サ行

サーチ方式	54、70
視度調節	12
シャッタースピード	39
手動調節	34
手動ピント合わせ	36
充電	9
充電確認マーク	9
ズーム	15
静止画	20、26
接続(テレビで見るとき)	18
(編集のとき)	59
ゼブラパターン	45
ゼロセットメモリー	19、62

タ行

タイムコード	14
ダビング編集	59
使えるビデオカセット	73
つなぎ撮り	13
データコード	57
テープ残量表示	14
テープの終わり表示	90
手振れ補正	46
電源(家庭用コンセント)	65
(バッテリー)	9
撮る姿勢	4

ハ行

バッテリー残量表示	90
バッテリー	9
日付サーチ	54
日付・時刻の記録	57
ビデオカセット	73
ビューファインダーの表示	87
ファインシンクロエディット	60
フェードイン・フェードアウト	22
フォーカス	36
フォトサーチ	54
フォトモード撮影	26
ヘッド	74
ヘッドホン端子	83
ヘッド汚れ表示	90
望遠	15
ボタン型リチウム電池	75
ホワイトバランス	47

マ行

メニュー	66
------	----

ラ行

リモコン	85
リモコン受光部	82、83
リモコンのID	86
レックレビュー	17
録音レベル	49

ワ行

ワイド再生	70
ワイドTV	24
ワンプッシュホワイトバランス	48

アルファベット順

ACパワーアダプター	65
AV接続ケーブル	18
COPY INHIBIT表示	73
DVケーブル	59
DV方式	73、89
ID-1方式	24、89
eLANC端子	83
NDフィルター	44
NTSC方式	79
RFUアダプター	18
S(S1)映像端子	18

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい

スキー場、真夏の海岸

→ NDフィルター(44ページ)

パーティー会場

→ ホワイトバランス(47ページ)

暗い

夜景、夕景、花火

→ ゲイン(42ページ)

コントラストが強い

→ ゼブラパターン(45ページ)

広い範囲にピントを合わせる

→ アイリス(38ページ)

被写体の動きが速い

ゴルフスイングなど

→ シャッタースピード(39ページ)

風が強い

→ WIND(50ページ)

画像をこうしたい

写真のような静止画を撮りたい

→ フォトモード(26ページ)

アニメーションのような効果を出したい

→ コマ撮り(30ページ)

花の開花や、昆虫の羽化を撮りたい

→ インターバル録画(28ページ)

効果的な場面転換をしたい

→ フェードイン、フェードアウト、オーバーラップ(22、23ページ)

被写体を引き立てたい

→ アイリス(38ページ)

意図的にピントを合わせたい。

→ 手動ピント合わせ(36ページ)

映画のように横長の画像にしたい

→ ワイドTVモード(24ページ)

再生するとき

見たい場面にすばやく戻したい

→ ゼロセットメモリー(19ページ)

各場面の頭出しをしたい

→ カセットメモリーサーチ(54ページ)

撮影した日時を確認したい

→ データコード(57ページ)

再生するとき

ナレーションを録音したい

→ アフレコ(63ページ)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客先相談センターへ

●ナビダイヤル……………0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

●携帯電話・PHSでのご利用は……………03-5448-3311

●Fax……………0466-31-2595

受付時間:

月～金

9:00～20:00

土・日・祝日

9:00～17:00

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

DCR-VX9000

テクニカルインフォメーションセンターへ

0120-86-4021(フリーダイヤル)

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型名: DCR-VX9000
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日